

急速に進化するAI。

バイブコーディングを活用し、『ミナのカルチャーマイニング・アドベンチャー』制作に挑戦します。

ここからミナ(연구소 마스코트)は、研究からゲームへ、そして世界へ。
進化のプロセスも含めて、ぜひ見届けてください。

次回はモバイル版へ。

今日は韓国の旧正月(ソルラル)です。
日本とは異なり、韓国や中国では今日が新しい一年の始まり。家族とともに過ごす、一年で最も大切な祝日のひとつです。

ミナから心を込めて、

三つの言語、三つの文化、
でも「新年を祝う心」はひとつ。

새해 복 많이 받으세요
明けましておめでとうございます
新年快乐
ミナのカルチャーマイニングより

デジタル・ヒューマニティーズ (Digital Humanities) が、近年韓国で注目を集めています。

デジタル・ヒューマニティーズと本研究所のカルチャーマイニング(Culture Mining)との関連性について考察してみました。

「デジタル・ヒューマニティーズ (Digital Humanities) の観点から見たカルチャーマイニング」
『日本学報』Vol.143, No.1

この論文を一言で言えば、カルチャーマイニング(Culture Mining)とはデータを通して文化を読み解くデジタル・ヒューマニティーズの実践です。

韓国の大学に、今年も卒業シーズがやってきました

日本より一か月早く卒業を迎えた韓国のGMBC卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます！

本研究所総括顧問である浜本宏先生（元衆議院議員）の名誉博士号授与式が執り行われました。

これまでのご功績に深く敬意を表するとともに、今後のGMBCおよびカルチャーマイニング研究のさらなる発展へのご指導とご貢献を心より期待申し上げます。

GMBC研究所ロビーにて、三か国語でカルチャーマイニングを紹介中のミナ(연구소 마스코트)

皆さんもぜひお立ち寄りください！

29校を運営するNSGカレッジリーグおよび（株）BLUEREDの関係者の皆さまが、GMBC韓国ブランド（SKU）をご訪問くださいました。

オン＆オフライン融合型カルチャーマイニングツアーをご体験いただき、充実した交流の時間となりました。

GMBCとの新たな連携・協力のさらなる発展が、今からとても楽しみです。

ミラとGMBCとのコラボは、どなたにも開かれています。いつでもお気軽にお声がけください

GMBCは、完成を目的としない。進化し続けるキャンパスです。

GMBC図書館カフェで一生懸命勉強中のミナ

みなさんは、図書館派ですか？カフェ派ですか？

日本と韓国の卒業式文化には、どんな違いがあると思いますか？

- ・雰囲気
- ・服装
- ・家族や友人との関わり方

気づいたことがあれば、ぜひ教えてください

GMBCは、完成を目的としない。進化し続けるキャンパスです。

これからも進化し続けるGMBCのすみずみを、ミナとともに紹介していきます。

GMBC 展示ホールを巡るミナ

『世界は広く、やることはたくさんある！』(2021)

カルチャーマイニングを通して、
若者が世界へ踏み出すための
グローバルマインドを育む実践書。

ミナと世界へ
GMBC for Global Careers

GMBCに
論文投稿システムを構築。

Culture Miningは、
境界を越える。

GMBCは、
研究が「閉じない」場所。

ミナ、
境界を越える研究へ。

「カルチャーマイニングを活用したパソナグループの淡路島地域再生事業に関する研究」

『Journal of CEO and Management Studies』Vol.26, No.2

Culture Miningは、
研究から現場へ。

ミナと一緒に、
Culture Miningの現場へ。

映像で理解する
カルチャーマイニング (Culture Mining)。

ー 日本と韓国の伝統衣装 ー

文化を「読む」から、
文化を「掘り起こす」へ。

ケデホン(K-POP Demon Hunters)
韓服のミナ、in GMBC。

ミナのデビュー説明会

ミナ。
カルチャーマイニング仕様。

ミナ、
カルチャーマイニングに取り組み中。

『Rカルチャーマイニング (Culture Mining) 』(2021)

データから文化を読み解く。
その問いは、今も続いています。

ミナと一緒に。
Culture Miningは、今もGMBCで進化中。

ミナ (Mina) と一緒に、

文化と学びをつなぐ旅は続きます。

文化を読み解く。
Culture Mining。

人と世界を結ぶ。
GMBC。

ミナは、今も進化中。

武庫川女子大学 ×聖潔大学×神戸学院大学 @GMBC

ミナ（Mina）を中心に、
姉妹大学のマスコットたちが集まりました。

国境を越えて、
文化と学びをつなぐ
GMBCのフレンズです。

国境を越えて、
キャンパスは
「場所」から
「つながり」へ。

グローバル・メタ・ブリッジ・キャンパス（GMBC）とカルチャーマイニング（Culture Mining）をつなぐ本研究所のマスコット、ミナ（Mina）です。

文化を読み解き、人と世界を結ぶ存在として、みんなのパートナーであり続けます。

ミナ（Mina）は、
「みんな（皆）」と「Mining（分析・発掘）」を掛け合わせた名前です。

文化を共に読み解き、
知と人を結ぶ存在として生まれました。
このスローガンを、教育・研究・国際連携の現場で形にしていきます。

本研究所のスローガンである「融合と革新の未来プラットフォーム
（Convergence Meets Innovation for the Next）」が、大学全体の新スローガンとして採用
されました。今後も大学のビジョン実現に向け、より一層の努力を重ねてまいります。

研究所から大学へ。
ビジョンを共有する、次のステージへ。

両大学のマスコットもそろいました。
GMBCでの再会を楽しみにしています！

先日行われた聖潔大学 × 神戸学院大学のカルチャーマイニング学生交流会では、本学マスコットをお披露目できなかったことが少し心残りでしたが、このたび新マスコットが完成しました。GMBCを通じて大学同士もつながり、これからも両大学の交流と友情が、さらに深まっていくことを楽しみにしています。

補足として、(株)データソリューションは公共・産業分野で豊富な実績を持つビッグデータ・AI・クラウドの専門企業です。
本研究所とのMOUを通じ、カルチャーマイニング(Culture Mining)を含む産学連携を進めています。

このイベントは、メタバース × カルチャーマイニング × 産学協力の実践例として、韓国の複数の新聞でも紹介されています。

성결대 대학일자리센터, XR센터와 공동주관 “해외취업(일본) CEO강연회(with 서울재팬클럽(SJC))” 운영

성결대학교 대학일자리센터는 11월 03일(수) 14:00~15:30, XR센터와 공동으로 “2021학년도 해외취업(일본) CEO강연회(with 서울재팬클럽(SJC))” 프로그램을 진행했다고 밝혔다. 이번 프로그램은 해외취업으로 ...

学生たちの笑顔と反応が、何よりの成果でした。

対面授業とメタバース (GMBC) を融合し、カルチャーマイニング (Culture Mining) の視点からみんなで若者文化を読み解く。

オンラインを超えた次世代型オンサイト授業が、いよいよ実現したと実感できた学生たちの反応でした。

このような授業、いかがでしょうか。

本取り組みは、(株)日立公式サイトにも掲載されています。

#カルチャーマイニング

#産学連携

#GMBC

주식회사 한국히타치, 글로벌기업 초청 강연 실시
히타치그룹의 보도자료 정보를 게재하고 있습니다.

(株)日立のグローバルCSR活動を題材に、企業×大学×学生が交差するオンサイト×メタバースによるカルチャーマイニング (Culture Mining) の実践。

その経験と蓄積が、現在のグローバル・メタ・ブリッジ・キャンパス (GMBC) へとつながっています。

次の日韓カルチャーマイニング(Culture Mining)も、ぜひご期待ください

映像で理解するカルチャーマイニング (Culture Mining) 。

－ 韓国の大学生の飲酒文化 －

文化を「読む」から、
文化を「掘り起こす」へ。

グローバル・メタ・ブリッジ・キャンパス (GMBC) は、単なる仮想空間ではありません。

異文化と多様な発想がリアルに交差する
カルチャーマイニング (Culture Mining) の実践の場として、その可能性を広げ続けています。

カルチャーマイニング(Culture Mining)。

データから文化を読み解き、
研究・教育・国際交流へ。
そして、その先へ。

既存のデータマイニングやテキストマイニングとは異なる、本研究所独自の「カルチャーマイニング (Culture Mining) 」は、商標登録®済みの概念です。言葉だけでは伝えにくかった“違い”や“発想”を、短い映像で、より直感的に伝えていきたいと考えています。

『関西地域カルチャーマイニング』2024

カルチャーマイニング・コース（CMC）に参加した日韓学生たちによる実践をまとめた、もう一冊の刊行物です。関西地域をフィールドに、文化の違いと共通点をデータから読み解いた成果を収録しています。

『韓・日カルチャーマイニング』

本書は昨年刊行されたものですが、本研究所主催のカルチャーマイニング・コース（Culture Mining Course, CMC）に参加した日韓の学生30名が共に取り組み、両国の文化の違いと共通点を見出した実践と成果は、今もなお現在進行形で広がり続けています。

この考え方を、私たちは研究・教育・国際交流の現場で形にしています。

この一文が、私ども文化フレームビッグデータ研究所の原点です。

データは過去を語る。

文化は未来を示す。

『データから文化を読み解く』

文化フレームビッグデータ研究所

From data to culture.

From culture to the future.

「データから文化を読み解く」文化フレームビッグデータ研究所。

データは過去を語る。文化は未来を示す。

「データから文化を読み解く」文化フレームビッグデータ研究所。

本研究所のロゴです。

補足として、本研究所は、韓国研究財団(NRF)・融合研究総括センターをはじめ、融合研究学

会、西江大学 人工知能対話分析研究室、言語融合研究所、知識コンテンツ学会など、国内外あわせて約20の研究機関・学術団体とMOUを締結しています。

(株)データソリューション (datasolution.kr) とMOUを締結しました。高度なデータ統合技術を基盤に、AI・ビッグデータ分析・クラウド分野に加え、本研究所独自のカルチャーマイニング (Culture Mining) を通じた実践的な産学連携を本格的に進めていきます。

学生たち、淡路島のパソナグループ文化施設にてフィールド・カルチャーマイニング (Culture Mining) 中！

6大学の学生、SJC会員、日立社員が参加し、メタバースとリアル会場を融合した本講演会は、国境を越えてグローバルに展開する日立の事業を題材に、本研究所が推進するカルチャーマイニング (Culture Mining) の実践的な学びの場となりました。

ソウル・ジャパンクラブ (SJC) と連携し、(株)日立と進めた産学連携事例。メタバースとリアル会場をつなぐライブ配信により、周辺5大学が同時参加しました。

大学と企業、そして学生。

国籍や国境を越えて同じ空間を共有し、文化を読み解くことから新たな連携が生まれます。カルチャーマイニング(Culture Mining)を基盤とするグローバルメタブリッジキャンパス(Global Meta-Bridge Campus)が目指す価値です。

グローバルメタブリッジキャンパスは、大学と企業をつなぐ連携のプラットフォームでもあります。淡路島の禅リトリート施設を学生たちとメタバースで構築し、現地(淡路)でパソナのメタバース東京本部とオンライン交流会を実施しました。大学×企業×メタバースの連携を今後も広げていきたいです！

国境を越えて、大学と大学をつなぐ。

Students Move. Campuses Connect.

リアルとメタバースを行き来しながら、学びと交流が自然に生まれる場。

Global Meta-Bridge Campus

文化を読み解き、つなぎ、多文化の融合がイノベーションと出会うプラットフォーム。

Convergence Meets Innovation.

カルチャーマイニング (Culture Mining) とは、テキストや画像、動画などに表れる人々の文化を分析し、言語・地域・世代を越えた文化的特徴やつながりを読み解く試みです。

国境を越えて大学キャンパスをメタバースでつなぐ。その瞬間から、発想が一気に広がり始めました。

カルチャーマイニング(Culture Mining)は、文化の力を読み解き、交流へとつなぐ。グローバルメタブリッジキャンパス(Global Meta-Bridge Campus)は、その実践の場です。

Culture Mining is the process of finding useful or interesting ‘cultural elements’ -life styles, patterns, fashions, trends, beliefs, rules, frames etc.- of a specific region or a generation from unstructured text, various image sets by comparing different languages and cultures.

컬처마이닝이(Culture Mining)란 인간의 문화를 표현하고 있는 다양한 미디어(텍스트, 이미지, 동영상 등)를 분석하여 언어/지역/성별/세대별 문화를 구성하는 문화요소와 그들간의 관계를 발견해가는 과정이다.

カルチャーマイニング (Culture Mining) とは、テキストや画像、動画などに表れる人々の文化を分析し、言語・地域・世代を越えた文化的特徴やつながりを読み解く試みです。

山形県教育委員会は、不登校支援としてメタバースを活用した「オンラインの居場所」を実証。アバターによる交流や学習体験が行われました。

私たちのグローバルメタブリッジキャンパスも、国境や距離を超えて人と人をつなぐ学びの場を広げる一つの選択肢になるのではないのでしょうか。

教育家庭新聞

@kyoikukatei

16 Nov 2025

『メタバースで「オンラインの居場所」を開室～不登校児童生徒がアバターで交流～山形県』

山形県教育委員会は不登校支援事業として、メタバースを活用した「オンラインの居場所」のデモ

ンストレーションを10月24日に実施した。

今回訪問した2社のグランドハンドリング会社は、私どもの学生の海外インターンシップ受け入れ先です。メタバース空港をハブとしたグローバルメタブリッジキャンパスを事前研修に活用することについて協議しました。リニューアルしたメタバース空港も、まもなく完成予定です。

今回のメタバースを活用した対面型カルチャーマイニング学生交流で実施した「キャンパスねこ探し」ゲームです。学生たちが本学キャンパスに暮らす猫を探してリアルタイムでスクリーンショットを投稿すると、イラストのポストカードをプレゼントする企画で、大変好評でした。

音楽や食といった文化の力が、人と人、国と国を自然につなぐ。私どもは毎年、グローバルメタブリッジキャンパスを活用し、複数大学と連携したカルチャーマイニング研修を継続しています。その積み重ねが、両首脳が語る「未来志向で安定的な日韓関係の発展」につながるのでは？
#カルチャーマイニング

日韓両首脳によるドラムセッションの様子です。

「2025 日韓カルチャーマイニング (Culture Mining) 研修映像」を共有します。こうした積み重ねが、未来志向で安定的な日韓関係の発展につながることを願っています。

#컬처마이닝 #カルチャーマイニング #culture mining

음악과 음식 같은 문화의 힘이 사람과 사람, 국가와 국가를 연결! 저희들은 매년 ‘글로벌메타브릿지캠퍼스’를 통해 일본의 대학들과 컬처마이닝 연수를 이어오고 있습니다. 이것이 바로 양국 수뇌가 말하는 미래지향적 안정적 한일 관계로 연결되는 것이 아닐까요?
#컬처마이닝

日韓両首脳によるドラムセッションの様子です。

奈良という「交流の原点」で行われている日韓首脳会談は、政治を超え、人と人のつながりを基盤とした関係構築を改めて考える機会だと感じております。

私ども研究所が進めているグローバルメタブリッジキャンパスの趣旨とも通じます。

日韓交流の原点「奈良」、高市早苗首相と李在明大統領が会談へ

高市早苗首相と韓国の李在明（イ・ジェミョン）大統領は13日に奈良で会談する。多くの歴史的建造物を擁する奈良は、古くから大陸や朝鮮半島からの渡来人が文化を伝承するなど、日韓の「交流の原点」として深いゆかりがある。奈良での首脳会談は李氏から提案した。2025年10月に韓国南東部・慶州（キョンジュ）で開いたアジア太平洋経済協力会議（APEC）にあわせて両首脳が会談した際、李氏が奈良を訪れたいと話した

日韓協力の重要性が語られる中で、大学・学生レベルでの継続的な交流こそが、次の60年の日韓関係を支える基盤になると改めて感じています。また個人的には、高市総理と同じ神戸大学出身であることにも、不思議なご縁を感じています。

日韓関係、これからも前向きに！

李대통령 "한일 국교정상화 환갑, 새60년 시작…손 꼭잡고 가야"

"복잡하고 어지러운 국제질서…한일 협력, 어느 때보다 어떤 것보다 중요" "아픈 과거 경험 있지만, 좋은 점 발굴하고 나쁜 점 관리하며 미래로"

같은 공간에 함께 있으면서도, 동시에 메타버스에 구현된 양교의 가상 캠퍼스를 각자의 스마트폰 아바타로 이동하며 교류하는 방식으로 단순한 온라인 교류나 일회성 방문을 넘어, 현실과 가상이 결합된 새로운 형태로 기존 국제교류 모델에 대해 다시 생각해 보게 합니다.

성결대학교-일본 고베가쿠인대학교, 현실과 메타버스를 잇는 ‘2026 걸쳐마이닝 학생교류회’ 개최

성결대학교(www.sungkyul.ac.kr, 총장: 정희석)가 1월 7일, 일본 협정교인 고베가쿠인대학교 포트아일랜드 제1캠퍼스에서 고베가쿠인대학교(총장: 비슈 노부히코(備酒伸彦))와 함께 ‘2026 걸쳐마이닝

記事内容の中から、岡部先生のコメントを翻訳したものです。

岡部芳彦教授は、「移動・費用・時間といった制約を軽減しつつ、没入感と相互作用を高めたグローバル交流モデル」と評価し、「両校の学生間における相互理解と親密感が、より一層深まるこ

とを期待している」と述べました。

2026年の交流会では、対面交流とメタバースを融合し、各自のスマホのアバターでリアルに再現された両校キャンパスを歩き来しながら施設を案内し合う日韓デジタル交流を実施しました。

20여년 지속된 일본행 학생교류가 전격 취소… 홍콩 내 여론은 과연 어떤 방향일까요? 지속 가능한(sustainable) 국제교류 방안을 함께 고민해야 할 때입니다!

Students move. Campuses connect.
Global Meta-Bridge Campus—together.

2026 컬처마이닝 아웃바운드 연수회는 임시 오픈한 글로벌메타브릿지캠퍼스(Global Meta-Bridge Campus)에서도 동시에 개최하였습니다. 70여명이 양교 캠퍼스를 실시간으로 왔다갔다 하며 서로의 캠퍼스를 소개하는 기획입니다. 비슈 노부히코(備酒伸彦) 총장님이 가장 열심히 참여해 주셨습니다.

夕刻はKR韓国の聖潔大学生の学長表敬後に本学生との交流会でした。韓国側の提案でスマホを使って両大学のメタバース上に構築された仮想キャンパスで交流するという内容。対面で一緒にいるのにメタバースで交流するというオンラインを超えた近未来的な交流会となりました。終わってからは懇親会でした。

2024 온&오프 하이브리드 컬처마이닝(Culture Mining) 국제 학생교류회!

2024CMC_성결대_대학혁신지원사업

정식 오픈전 2026 컬처마이닝 성결대학교 & 고베각쿠인대학교 교류회를 위해 글로벌메타브릿지캠퍼스(Global Meta-Bridge Campus)를 일부 선보였습니다. 양교 70여명의 학생 및 교직원들이 한자리에 참여한 체험회였습니다.

글로벌메타브릿지(Global Meta-Bridge Campus) 교류회 이후 오카베 교수님이 마련해주신 회식자리입니다. 일본의 고타츠(ユタツ) 문화를 이렇게 활용하고 있네요. 비슈 총장님은 다음날 새벽부터 연석회의가 잡혀있어서 공영차로 회식장소까지만 데려다 주셨습니다. 감사합니다!

聖潔大学との学生交流会終了後は同大の李教授、金教授と、通り沿いのユタツ席で一献。僕は同大の客員教授でもあるので、身に纏うのは、韓国の大学のシンボルとも言うべき同大の「カジャン(大学スタジャン)」。

2026년도 컬처마이닝 아웃바운드 연수에 대하여 고베가쿠인대학교에서 기획 기사를 작성해 주셨습니다. 정말 꼼꼼한 내용입니다. 감사합니다.

2025 컬처마이닝 연수회 이후 3개교 총장님이 참여한 글로벌메타브릿지캠퍼스(Global Meta-Bridge Campus) 수료식 및 성과발표회입니다. 비슈 노부히코(備酒伸彦) 총장님의 흥미진진한 표정이 너무 인상적입니다. 3개교 총장님 모두 인사말 이후 처음부터 끝까지 참여해주셔서 몸둘바 없었습니다!

今日は学長とともに大学国際交流センター所長として、聖潔大学での短期韓国語研修の修了式に。同大学のメタバースキャンパスにおける本学生のプレゼンを聞いて講評しました。現地でバディだった人学生とは来年1月に本学で再会します。

저희 대학 총장 부임과 거의 동시에 일본 현지에서 맺은 교베가쿠인대학교와의 정식 MOU 체결식입니다. 교베가쿠인대학교 비슈 노부히코(備酒伸彦) 총장님도 같은 해에 취임하셔서 향후 양교의 협력이 더욱 더 기대되는 바입니다. 새로운 리더십 발효 이후 양교 모두 첫 해외 MOU입니다.

今日は2022年に一般協定を結んだ韓国の聖潔大学から就任されたばかりのジョン・ヒソク学長と旧知のイ・ジュンソ教授が来学。本学学長との間で交換留学協定を締結しました。国際交流センター所長として協定式の司会をしました。僕は同大の客員教授でもあり、来月は学生を引率し

訪韓、同大訪問予定です。

오카베 요시히코 교수님의 우쿠라이나 명예영사 임명 이후 고베가쿠인대학교 학내에 위치한 영사관 방문 기념사진입니다. 일본속 우쿠라이나를 경험할 수 있는 신선한 경험이었습니다.

今日は在神戸ウクライナ名誉領事館に、韓国の聖潔大学の総勢30名の教員・学生の皆さんが来館。館内と名誉領事館中庭での一枚。

두 번째 고베가쿠인대학교 인바운드 컬처마이닝 연수회 첫 오프라인 수업에 오카베 요시히코 교수님도 참여해 주셨습니다. 학생들이 온라인 메타버스 교류회 이후 2주만에 다시 오프라인에서 만났지만 바로 친해진 듯 합니다. 사전 메타버스 교류회의 효과!

今朝はアニャン市の聖潔大学での夏の韓国語短期研修で挨拶。同大自慢のメタバースキャンパスで1週間の同大生との交流や研修を終え、今日からリアルに講義受講・交流が続きます。メタバースキャンパスは初代ドラゴンクエストのようで本学生にも好評です。

일본에는 없는 한국의 현수막 문화를 뽐낼 수 있는 기회이기도 합니다. 지금 생각해보니 지나치게 길었고, 컷던 것 같습니다. 이후 사이즈 조절해서 가지고 슬림하게 가지고 다닙니다.
「岡部芳彦センター所長は…グローバル・メタバース・キャンパス構築を通じたオン・オフ教育及び交流の可能性を打診した」

聖潔大学、大阪観光大・神戸学院大と現地学生交流会実施

2024 대학간 국제포럼 인천송도 전야제 장소 이동하면서 제가 직접 찍어드렸습니다. 즐거운 전야제 함께해주신 모든 분들께 감사드립니다.

今日は兵庫県庁などで2つ会議を終えて最終便で韓国のソウルへ。明日は協定大学の聖潔大学で講演です。今日は、まず夜の松島(ソンド)国際都市を視察。「韓国のドバイ」と呼ばれるスマートシティーです。

2024 오카베 제미(ゼミ) 한일 학생교류회 이후 마음이 통하는 교수들끼리의 즐거운 회식자리였습니다!

夜は協定校の聖潔大学のカウンターパートの李教授、金教授が歓迎会を開いてくれました。久し

ぶりの韓流飲み会ですが、昔のように爆弾酒はなく、一次会は鰻の炭火焼き。二次会ワインバーで『愛の不時着』で知られるソン・イェジンのドラマ『よくおごってくれる綺麗なお姉さん』のロケ地のワインバー。

세계적인 우쿠라이나 전문가이자 고베가쿠인대학교의 국제교류센터장이신 오카베 요시히코 교수님의 국제 학생교류 사례발표 및 패널토론!

午後は聖潔大学の図書館ホールで、学生対象に「日韓新時代の学生交流」と題して講演。コロナ禍で始めた「日韓オンライン学生フォーラム」や昨年の韓国総領事館がスポンサーで学生が訪韓した「韓日大学生友情の出会い」の事例などをご紹介します。

고베가쿠인대학교의 오카베 요시히코 교수님이 인솔해서 10여명의 지도학생들을 인솔하여 저희 대학을 방문해주셨습니다. 우연히 전원 남학생들로만으로 구성되어있어서 남자대학으로 오인한 받았습니다. ^^ 하계 인바운드 프로그램이 구체화된 계기가 된 행사이기도 합니다.

고베가쿠인대학교와 MOU를 체결한 이후 28명의 학생들을 인솔한 첫 학생교류회입니다. 이후 매년 겨울 정례화된 교류 프로그램으로 정착되었습니다.

アーニャさんへの奨学金授与式を終え、大学に戻り韓国の聖潔大学との交流会のモデレーターを務めました。同大と12月8日に協定を結んだばかりで、こんなに早く人的交流が始まるのは珍しいです。グループディスカッションのテーマは交流プランについて。学生の案はワクワクするような内容ばかりでした。

세계적인 우쿠라이나 연구자이자 고베각쿠인대학교의 국제교류센터장이신 오카베 요시히코 교수님이 저희 대학 특임교수를 흥쾌히 수락해주셨습니다. 저희 문화프레임빅데이터연구소의 든든한 후원군으로서 앞으로도 잘 부탁드립니다!

ソウル近郊の安養市にあるキリスト教系の聖潔(ソンギョル)大学でゼミ生との交流会。そこで思いがけず金相植学長より客員教授碑を授与されました。UAならともかく韓国の大学の客員教授になるとは考えた事もなく身の引き締まる思いですが、去年から3回もKRを訪問、改めて近い存在の隣国と感じました。

教育部 대학혁신지원사업의 지원으로 운영되는 문화프레임빅데이터연구소의 대표 국제 학생교류 프로그램 관련 기사입니다.

대학간 국제교류 활성화 방안을 논의한 한일 국제포럼입니다. 특별히, 이 자리에서 제가 연구소장으로 일하고 있는 문화프레임빅데이터연구소의 총괄고문이신 전 일본 중의원 하마무토 교수님(현 일한친선협회장)의 은퇴식과 더불어 연구소 발전기금 전달식도 있었습니다.
youtu.be/4JSHuDb9Glc?si=ucxk...

浜本先生引退式

일본 고베각쿠인대학교와의 첫 Inboud 하계 걸쳐마이닝 국제 학생 교류 영상입니다. 10명의 일본학생들이 참여하여 온라인 메타버스 5일 오프라인 현지 연수 9일간 40명 한일 학생이 함께한 새로운 개념의 하이브리드 교류의 장이었습니다!

午後は聖潔大学の図書館ホールで、学生対象に「日韓新時代の学生交流」と題して講演。コロナ禍で始めた「日韓オンライン学生フォーラム」や昨年の韓国総領事館がスポンサーで学生が訪韓した「韓日大学生友情の出会い」の事例などをご紹介します。

ソウル近郊の安養市にあるキリスト教系の聖潔(ソンギョル)大学でゼミ生との交流会。そこで思いがけず金相植学長より客員教授碑を授与されました。韓国の大学の客員教授になるとは考えた事もなく身の引き締まる思いですが、去年から3回も訪問、改めて近い存在の隣国と感じました。

アーニャさんへの奨学金授与式を終え、大学に戻り韓国の聖潔大学との交流会のモデレーターを務めました。同大と12月8日に協定を結んだばかりで、こんなに早く人的交流が始まるのは珍しいです。グループディスカッションのテーマは交流プランについて。学生の場合はワクワクするような内容ばかりでした。

今日は、昨年に続き、韓国ソウルの協定校の聖潔大学の学生が来学し交流会。新しい協定校ですが、すでに本学に3回も来た学生もいて、活発に交流が行われています。

夜は協定校の聖潔大学のカウンターパートの李教授、金教授が歓迎会を開いてくれました。久しぶりの韓流飲み会ですが、昔のように爆弾酒はなく、一次会は鰻の炭火焼き。二次会ワインバーで『愛の不時着』で知られるソン・イェジンのドラマ『よくおごってくれる綺麗なお姉さん』のロケ地のワインバー。

今日は韓国ソウルの聖潔大学の鄭熙錫副総長らが来学され、交流協定締結式でした。コロナ禍以後、初めての対面での海外の大学との式典です。担当部署は僕が所長の国際交流センターで今月末には早速同大の学生10名あまりが来てJPKR交流の予定。僕は来年3月には同大学を訪問し講義する事になりました。

今日は兵庫県庁などで2つ会議を終えて最終便で韓国のソウルへ。明日は協定大学の聖潔大学で講演です。今日は、まず夜の松島(ソンド)国際都市を視察。「韓国のドバイ」と呼ばれるスマートシティーです。

今日は、本学の韓国の協定校で夏休みのKR語研修先の聖潔大学の学生28名、教員2名が来学。大学の国際交流センター所長としてUA研究センターや名誉領事館を案内後、本学生と交流会のモデレーターをしました。交流会、懇親会ともに非常に盛り上がりました。改めて近年の日韓の関係の深さを感じました。

성결대 한/일 국제 교류/협력 포럼 개최(聖潔大が韓日国際交流・協力フォーラム開催)

「岡部芳彦センター所長は…グローバル・メタバース・キャンパス構築を通じたオン・オフ教育及び交流の可能性を打診した」

聖潔大学、大阪観光大・神戸学院大と現地学生交流会実施

성결대, 일본 오사카관광대·고베학원대와 현지 학생교류회 실시

성결대학교(총장 김상식)가 일본 오사카관광대학교, 고베학원대학교와 현지 학생교류회를 실시했다고 26일 밝혔다. 지난 7월과 12월에 MOU를 체결한 이후 문화프레임빅데이터 연구소(연구소장 이준서 글로벌물류학부 교수)가 구축한 컬처마이닝 메타버스 플랫폼으로 온라인 교류회를 실시하고 이번에 일본에서 오프라인 현지 학생교류회를 실시하게 된 것이다.

今日は学長とともに大学国際交流センター所長として、聖潔大学での短期韓国語研修の修了式に。同大学のメタバースキャンパスにおける本学生のプレゼンを聞いて講評しました。現地でバディだった学生とは来年1月に本学で再会します。夜は東京で日帰り会食でしたが台風で新幹線が止まり断念。

聖潔大学との学生交流会終了後は同大の李教授、金教授と、通り沿いのユタツ席で一献。僕は同大の客員教授でもあるので、身に纏うのは、韓国の大学のシンボルとも言うべき同大の「カジャン(大学スタジャン)」。

夕刻は韓国の聖潔大学生の学長表敬後に本学生との交流会でした。韓国側の提案でスマホを使って両大学のメタバース上に構築された仮想キャンパスで交流するという内容。対面で一緒にいるのにメタバースで交流するというオンラインを超えた近未来的な交流会となりました。終わってからは懇親会でした。

今日、午後は、韓国の協定校の聖潔大学の日本語を学ぶ学生21名が、在神戸ウクライナ名誉領事館に来館。大阪・関西万博ウクライナ館永久展示を見学しました。

今朝はアニョン市の聖潔大学での夏の韓国語短期研修で挨拶。同大自慢のメタバースキャンパス

で1週間の同大生との交流や研修を終え、今日からリアルに講義受講・交流が続きます。メタバースキャンパスは初代ドラゴンクエストのようで本学生にも好評です。

LEE JUNSEO / Edu-Platform Builder (Culture Mining) retweeted
岡部芳彦 OKABE YOSHIHIKO Окабе Йошихико

今日は2022年に一般協定を結んだ韓国の聖潔大学から就任されたばかりのジョン・ヒソク学長と旧知のイ・ジュンソ教授が来学。本学学長との間で交換留学協定を締結しました。国際交流センター所長として協定式の司会をしました。僕は同大の客員教授でもあり、来月は学生を引率し訪韓、同大訪問予定です。

今日は在神戸ウクライナ名誉領事館に、韓国の聖潔大学の総勢30名の教員・学生の皆さんが来館。館内と名誉領事館中庭での一枚。

今日午前中は、聖潔大学校での韓国語研修の初日に参加。同大学のバディーと組んで会話を披露など非常に楽しい研修になりそうな予感。本学の学生は韓国語が非常に上手い学生が多くいつも驚かされます。僕は今日帰国ですが、学生たちは9月初旬まで滞在します。きっと一皮向けて帰ってくるでしょう。

夏期休暇中の本学の「韓国短期研修」の引率でアニョン市の聖潔大学に。オープニングセレモニーで国際交流センター所長としてご挨拶させて頂きました。一週間、同大学のメタバースキャンパスで韓国語の講義や学生交流を行った後なのでもう顔見知りですぐに打ち解けています。時代は変わりました。

일본에는 없는 한국의 현수막 문화를 뽐낼 수 있는 기회이기도 합니다. 지금 생각해보니 지나치게 길었고, 컸던 것 같습니다. 이후 사이즈 조절해서 가지고 슬림하게 가지고 다닙니다.

2024 대학간 국제포럼 인천송도 전야제 장소 이동하면서 제가 직접 찍어드렸습니다. 즐거운 전야제 함께해주신 모든 분들께 감사드립니다.

今日は兵庫県庁などで2つ会議を終えて最終便で韓国のソウルへ。明日は協定大学の聖潔大学で講演です。今日は、まず夜の松島(ソンド)国際都市を視察。「韓国のドバイ」と呼ばれるスマートシティです。

2024 오카베 제미(ゼミ) 한일 학생교류회 이후 마음이 통하는 교수들끼리의 즐거운 회식자리였습니다!

夜は協定校の聖潔大学のカウンターパートの李教授、金教授が歓迎会を開いてくれました。久しぶりの韓流飲み会ですが、昔のように爆弾酒はなく、一次会は鰻の炭火焼き。二次会ワインバーで『愛の不時着』で知られるソン・イェジンのドラマ『よくおごってくれる綺麗なお姉さん』のロケ地のワインバー。

세계적인 우쿠라이나 전문가이자 고베가쿠인대학교의 국제교류센터장이신 오카베 요시히코 교수님의 국제 학생교류 사례발표 및 패널토론!

午後は聖潔大学の図書館ホールで、学生対象に「日韓新時代の学生交流」と題して講演。コロナ禍で始めた「日韓オンライン学生フォーラム」や昨年の韓国総領事館がスポンサーで学生が訪韓した「韓日大学生友情の出会い」の事例などをご紹介しました。

고베가쿠인대학교의 오카베 요시히코 교수님이 인솔해서 10여명의 지도학생들을 인솔하여 저희 대학을 방문해주셨습니다. 우연히 전원 남학생들로만으로 구성되어있어서 남자대학으로 오인한 바 있습니다. 하계 인바운드 프로그램이 구체화된 계기가 된 행사이기도 합니다.

고베가쿠인대학교와 MOU를 체결한 이후 28명의 학생들을 인솔한 첫 학생교류회입니다. 이후 매년 겨울 정례화된 교류 프로그램으로 정착되었습니다.

アーニャさんへの奨学金授与式を終え、大学に戻り韓国の聖潔大学との交流会のモデレーターを務めました。同大と12月8日に協定を結んだばかりで、こんなに早く人的交流が始まるのは珍しいです。グループディスカッションのテーマは交流プランについて。学生の案はワクワクするような内容ばかりでした。

세계적인 우쿠라이나 연구자이자 고베각쿠인대학교의 국제교류센터장이신 오카베 요시히코 교수님이 저희 대학 특임교수를 흥쾌히 수락해주셨습니다. 저희 문화프레임빅데이터연구소의 든

든한 우원군으로서 앞으로도 잘 부탁드립니다!

ソウル近郊の安養市にあるキリスト教系の聖潔(ソンギョル)大学でゼミ生との交流会。そこで思いがけず金相植学長より客員教授碑を授与されました。UAならともかく韓国の大学の客員教授になるとは考えた事もなく身の引き締まる思いですが、去年から3回もKRを訪問、改めて近い存在の隣国と感じました。

교육부 대학혁신지원사업의 지원으로 운영되는 문화프레임빅데이터연구소의 대표 국제 학생교류 프로그램 관련 기사입니다.

대학간 국제교류 활성화 방안을 논의한 한일 국제포럼입니다. 특별히, 이 자리에서 제가 연구소장으로 일하고 있는 문화프레임빅데이터연구소의 총괄고문이신 전 일본 중의원 하마무토 교수님(현 일한친선협회장)의 은퇴식과 더불어 연구소 발전기금 전달식도 있었습니다.

일본 고베각쿠인대학교와의 첫 Inboud 하계 컬처마이닝 국제 학생 교류 영상입니다. 10명의 일본학생들이 참여하여 온라인 메타버스 5일 오프라인 현지 연수 9일간 40명 한일 학생이 함께한 새로운 개념의 하이브리드 교류의 장이었습니다

성결대-일본 고베각쿠인대 '2026 컬처마이닝 학생교류회' 개최

성결대는 7일 일본 협정교인 고베각쿠인대 포트아일랜드 제1캠퍼스에서 고베각쿠인대와 함께 '2026 컬처마이닝 현지 학생교류회'를 개최했다고 이달 12일 밝혔다. 이번 행사는 양교 학생과 관계자 70여 명이 참석한 가운데, 대면 교류와 메타버스 기반 가상 교류를 동시에 진행하는 방식으로 운영돼 국경과 물리적 한계를 넘어서는 차세대 국제교류 모델을 실증했다.

이번 교류회의 가장 큰 특징은 학생들이 같은 공간에 대면으로 함께 있으면서도 메타버스 상에 구현된 양교의 가상 캠퍼스를 활용해 교류를 진행했다는 점이다. 학생들은 각자의 스마트폰을 통해 아바타로 가상 캠퍼스를 이동하며 서로의 대학 건물과 시설을 소개하고 캠퍼스 공간을 함께 탐색하는 등, 현실과 가상이 결합된 근미래형 국제교류 경험을 체감했다.

이번 프로그램에서는 대학혁신지원사업의 지원을 받아 성결대 문화프레임빅데이터연구소가 구축 중인 글로벌 메타브릿지캠퍼스(Global Meta-Bridge Campus)가 일부 공개됐다. 글로벌 메타브릿지캠퍼스는 성결대의 비전인 '융합과 혁신의 미래 플랫폼(SKU, Convergence Meets Innovation)'을 구현하는 핵심 전략으로, 세계 각국의 대학 캠퍼스를 메타버스로 연결해 국경과 물리적 거리를 넘어 배우고 협력하는 차세대 글로벌 교육 플랫폼이다.

특히 실제 캠퍼스를 디지털 트윈으로 구현하고 대면 학습과 메타버스 공간을 유기적으로 결합함으로써, 학생과 교수진이 같은 공간에 있으면서도 동시에 세계와 연결되는 새로운 캠퍼스 경험을 가능하게 한다는 점에서 주목받고 있다. 이번 행사는 정식 공개에 앞서 제한된 파트너 대학만 접근 가능한 프리런치(Pre-launch) 버전이 실제 국제교류 현장에 적용된 첫 사례로, 단기 방문 중심의 국제교류를 넘어 교육/연구/문화 활동이 연동되는 지속 가능한 글로벌 캠퍼스 교류 가능성을 보여줬다.

고베가쿠인대 국제교류센터장 오카베 요시히코(岡部芳彦) 교수는 "이동/비용/시간의 제약을 줄이면서도 몰입도와 상호작용을 강화한 글로벌 교류 모델"이라며 "양교 학생 간 상호 이해와 친밀감이 더욱 깊어질 것으로 기대한다"고 말했다.

이준서 성결대 문화프레임빅데이터연구소장은 "이번 교류는 성결대의 중장기 발전전략인 '융합과 혁신의 미래 플랫폼' 비전이 실제 국제교류 현장에서도 구현 가능하다는 점을 보여준 사례"라며 "향후 교환학생, 공동수업, 국제 포럼 등으로 확장해 글로벌 캠퍼스 네트워크를 본격적으로 실현해 나갈 계획"이라고 밝혔다.

성결대, 2025 글로벌 컬처마이닝 프로그램으로 온오프라인 교육/교류 펼쳐

메타버스/캠퍼스 교류/아웃바운드 연계...양방향 국제교류 선순환 구축

성결대(총장: 정희석)가 성결대에서 8월 7일부터 9월 1일 중 2회에 걸쳐 온오프라인 캠퍼스 교육 교류 프로그램인 2025년도 글로벌 컬처마이닝 프로그램을 전년보다 확대 운영한다. 올해는 일본 오사카관광대학과 고베가쿠인대학이 각각 10일씩 참여하며, 온라인과 오프라인을 합쳐 총 26일간의 집중 교육 및 교류가 이어진다.

이번 프로그램은 8월 7일부터 8월 12일까지 6일간의 온라인 메타버스 교육으로 시작된다. 참가 학생들은 가상 캠퍼스에서 기본 학습과 상호 문화 이해를 쌓은 뒤, 8월 13일부터 8월 21일까지는 오사카관광대학 학생들이, 8월 22일부터 9월 1일까지는 고베가쿠인대학 학생들이 성결대 캠퍼스에서 오프라인 교육과 교류 활동에 참여한다.

특히 이번 과정은 성결대 2학기 정규 과목인 '글로벌컬처마이닝' 수업과 직접 연계된다. 연수에서 다룬 문화 분석과 프로젝트 결과물은 학기 수업 속에서 심화/확장되며, 오는 동계방학에는 성결대 학생들이 일본으로 파견되는 아웃바운드 프로그램이 이어진다. 아웃바운드는 이번 인바운드 교류에 참여한 오사카관광대학과 고베가쿠인대학을 중심으로 운영돼, 양방향 국제교류의 선순환 구조를 실현할 계획이다.

성결대 문화프레임빅데이터연구소장인 이준서 글로벌물류학과 교수는 "2025년 프로그램은 메타버스를 활용한 6일간의 사전 학습과 성결대 캠퍼스에서의 20일간 오프라인 현장 교류를 포

함해 총 26일간 진행된다"며, "정규 수업과 아웃바운드까지 하나의 흐름으로 설계한 것이 특징"이라고 설명했다. 이어 "앞으로도 글로벌 문화이해와 데이터 기반 문화연구를 결합한 교육 모델을 지속적으로 발전시켜 나갈 것"이라고 밝혔다.

성결대-일본 CKTS 주식회사 산학협력 MOU 체결

성결대는 일본 CKTS 주식회사와 3일 공식 업무협약(MOU)을 체결하고 항공서비스 분야의 실질적인 산학협력을 강화해 나가기로 했다고 7일 밝혔다.

이번 협약은 지난 3년간 성결대 학생들이 관서국제공항에서 장기 인턴십을 수행해 온 성과를 바탕으로 이뤄졌으며 양 기관은 교육과 산업현장을 긴밀하게 연결하는 실무 중심의 인재 양성 체계를 더욱 견고히 해 나갈 계획이다. CKTS는 일본을 대표하는 공항 지상조업(그라운드 핸들링) 전문 기업으로 성결대는 매년 복수의 학생을 파견해 공항 현장에서 다양한 실무를 직접 경험할 수 있도록 지원해 왔다.

성결대 정희석 총장은 협약식에서 "CKTS 주식회사가 지난 3년간 성결대 학생들을 따뜻하게 맞아주시고, 소중한 현장 경험을 제공해 주신 데 깊이 감사드린다"며 "이번 협약을 계기로 학생들에게 보다 폭넓은 글로벌 실무 기회가 더욱 더 확대될 것으로 기대한다"고 전했다.

이어 정 총장은 현재 관서공항 국제선 여객 터미널에서 지상직 인턴으로 근무 중인 재학생들과, 정규직으로 채용돼 활약 중인 졸업생들을 직접 만나 격려하고 직원 기숙사를 방문해 근무 환경도 살폈다.

정 총장은 이날 협약식에서 취임 당시 밝힌 핵심 비전을 다시 한번 강조하며, "학생들이 국내에만 머무르지 않고 더 넓은 세계로 나아갈 수 있도록 글로벌 인턴십 기회를 적극 확대해 나가겠다"고 밝혔다. 그는 "일본, 싱가포르 등 학생들이 비교적 쉽게 진출할 수 있는 국가의 유력 기업들과 협약을 체결해, 1년간의 유급 해외인턴십을 제공하고 이후 현지 취업까지 이어질 수 있는 실질적인 진로 경로를 열어갈 계획"이라고 덧붙였다.

성결대는 2019년 해외취업지원센터를 개소한 이후, 해외 우수 기업들과의 산학협력을 바탕으로 장기 인턴십과 글로벌 취업 연계를 지속적으로 확대하고 있다. 이번 CKTS와의 협약은 양국 간 인적 교류는 물론, 대학-기업 간 산학협력의 모범 사례로 주목받고 있으며 향후 관련 전공 개설과도 연계해 글로벌 기업과 함께하는 체계적인 교육-현장 연동 시스템을 더욱 체계화해 나갈 방침이다.

성결대는 일본 CKTS 주식회사와 3일 공식 업무협약(MOU)을 체결하고 항공서비스 분야의 실질적인 산학협력을 강화해 나가기로 했다.

성결대, 일본공항 해외인턴십 및 컬처마이닝 국제교류 설명회 성료

워크ेशन 기반 글로벌 실무교육과 문화융합교류 통해 항공서비스 융합전공 본격 추진
성결대(총장: 정희석)가 지난 2025년 5월 30일 오후 3시 학술정보관 6층 국제회의실에서 '일본공항 해외인턴십 & 취업설명회 및 면접'과 '2025년도 컬처마이닝 온&오프 국제학생교류 프로그램 설명회'를 연이어 개최하며 글로벌 진로교육의 새로운 비전을 제시했다.

이번 설명회는 '해외현장실습 연계 장기 인턴십'과 '언어/문화 교류형 프로젝트 수업'을 결합한 온/오프라인 하이브리드형 교육 모델로, 항공/호텔 분야 실무역량과 글로벌 문화 소통능력을 동시에 갖춘 융합형 인재 양성을 목적으로 진행됐다.

일본공항 현장실습, '워크ेशन' 기반 글로벌 인턴십 6기 출범

1부 행사로 열린 '일본공항 해외인턴십 설명회 및 면접'에서는 프로그램 운영 방식과 학점 인정 기준, 현지 생활 환경 등 실질적인 안내가 이뤄졌으며, 현장 면접을 통해 6기 참여자 선발이 함께 이뤄졌다.

해당 프로그램은 성결대의 '해외현장실습 제도(최대 1년 36학점 인정)'와 연계돼 있으며, 재학 중 일본 공항 및 호텔 현장에서 장기 체류하며 실무와 학습을 병행하는 '워크ेशन(Work + Vacation)' 교육모델로 주목받고 있다. 이를 통해 학생들은 실질적인 직무역량을 키우며 글로벌 커리어를 미리 체험할 수 있는 기회를 얻게 된다.

컬처마이닝 국제학생교류...글로벌 메타버스 캠퍼스 기반 정규과목 연계

이어 진행된 2부 행사 '2025 컬처마이닝 온&오프 국제학생교류 설명회'에서는 여름방학 동안의 일본 대학생 대상 인바운드 언어/문화 연수와 겨울방학 성결대 학생의 아웃바운드 일본 연수 프로그램이 소개됐다.

특히 본 프로그램은 단순 교류를 넘어서 상호 대학 정규 교과목(3학점)으로 연계 운영되며 메타버스 플랫폼을 통한 한/일 공동 프로젝트 수업, 문화 콘텐츠 해석, 글로벌 문화 빅데이터 분석 등의 실습형 과제가 포함된다. 또한, 일본 고베학원대/오사카관광대 등 협정 대학과 연계해 현지 문화 체험, 기업 탐방, 공동 성과 발표회가 구성돼 있어 참가 학생들의 글로벌 실무 감각을 한층 강화한다.

글로벌 항공서비스 융합전공 신설 추진

성결대는 이번 두 프로그램을 기점으로 '글로벌 항공서비스 융합전공' 개설을 본격적으로 추

진한다. 해외 공항/호텔 산업과의 산학협력, 문화 빅데이터 기반의 융합 교육, 메타버스 실습 등을 통합한 차별화된 커리큘럼을 통해 글로벌 항공/관광/문화 융합형 인재를 양성할 계획이다.

성결대 글로벌물류학과 이준서 교수는 "이번 설명회는 해외현장 실습과 국제교류 교육이 융합된, 성결대만의 글로벌 역량 강화를 위한 시도였다"며 "정희석 총장 취임식에서 강조된 '글로벌 허브형 교육기관'의 비전을 실현하는 의미 있는 출발점으로 앞으로도 워케이션 기반 현장 교육, 컬처마이닝 국제학생교류, 항공서비스 융합전공 개설 등을 통해 학생들의 세계무대 진출을 적극 지원하겠다"고 밝혔다.

성결대 일본 CKTS/KAS와 글로벌 인턴십/메타브릿지캠퍼스 연계 협력 강화

성결대는 6일 일본의 대표적 국제선 특화 그라운드핸들링 기업인 CKTS 주식회사와 KAS 주식회사 사장단이 본교를 공식 방문했다고 7일 밝혔다.

이번 방문은 지난 7월 일본 관서국제공항(Kansai International Airport, KIX) 본사에서 체결된 성결대학교-CKTS 간 항공서비스 분야 산학협력 MOU의 후속 조치로, ▲국제공항 중심 글로벌 인턴십 ▲해외 취업 연계 ▲'메타브릿지캠퍼스(Meta-Bridge Campus)' 구축 협력 방안을 논의하기 위해 이뤄졌다.

CKTS와 KAS는 일본을 대표하는 국제공항 지상조업 전문기업으로, 성결대는 매년 일본 관서국제공항에 유급 인턴생을 파견해 학생들이 실제 공항 운영 현장에서 실무를 익히고, 글로벌 역량을 강화할 수 있도록 지원해 왔다.

이번 방문을 통해 양사 사장단은 성결대 재학생뿐 아니라 중국/베트남/네팔 등 다양한 국적의 해외 유학생을 대상으로 한 인턴십 및 취업 연계 프로그램 확대에 뜻을 모았다. 이를 통해 해외 유학생들도 일본 공항 현장에서 글로벌 서비스를 직접 경험하고, 졸업 후 현지 기업 취업으로 이어질 수 있는 새로운 진로 모델이 구축될 전망이다.

정희석 총장은 "성결대는 '융합과 혁신의 미래 플랫폼'이라는 비전 아래, 국적을 초월한 글로벌 현장학습과 해외 취업 기회를 학생들에게 제공하고 있다"며 "이번 협력은 한국 학생뿐 아니라 해외 유학생들에게도 현장 중심 글로벌 커리어 트랙을 열어주는 중요한 전환점이 될 것"이라고 강조했다.

성결대와 CKTS/KAS는 메타버스 기반 글로벌 교육 플랫폼인 '메타브릿지캠퍼스' 프로젝트와 연계해 국제공항을 중심으로 한 실습형 연수시설과 사전교육 프로그램을 공동 기획하기로 했다. 해당 캠퍼스는 현실과 가상을 연결하는 차세대 학습 인프라로, 해외 자매대학과의 공동 연수, 온라인 사전훈련, 다국적 학생 간 협업 학습 등이 가능한 글로벌 융합 교육 플랫폼으로 주목받고 있다.

성결대학교·일본 고베가쿠인대학교, 현실과 메타버스를 잇는 ‘2026 컬처마이닝 학생교류회’ 개최

현실·가상 융합 미래형 국제교류 모델 실증...‘융합과 혁신의 미래 플랫폼’ 비전 실현

성결대학교(총장: 정희석)가 지난 7일, 일본 협정교인 고베가쿠인대학교 포트아일랜드 제1캠퍼스에서 고베가쿠인대학교(총장: 비슈 노부히코(備酒伸彦))와 함께 ‘2026 컬처마이닝 현지 학생 교류회’를 개최했다. 이번 행사는 양교 학생과 관계자 약 70여 명이 참석한 가운데, 대면 교류와 메타버스 기반 가상 교류를 동시에 진행하는 방식으로 운영돼, 국경과 물리적 한계를 넘어서는 차세대 국제교류 모델을 실증했다.

이번 교류회의 가장 큰 특징은 학생들이 같은 공간에 대면으로 함께 있으면서도 메타버스 상에 구현된 양교의 가상 캠퍼스를 활용해 교류를 진행했다는 점이다. 학생들은 각자의 스마트폰을 통해 아바타로 가상 캠퍼스를 이동하며 서로의 대학 건물과 시설을 소개하고 캠퍼스 공간을 함께 탐색하는 등, 현실과 가상이 결합된 근미래형 국제교류 경험을 체감했다.

이번 프로그램에서는 대학혁신지원사업의 지원을 받아 성결대학교 문화프레임빅데이터연구소가 구축 중인 글로벌 메타브릿지캠퍼스(Global Meta-Bridge Campus)가 일부 공개됐다. 글로벌 메타브릿지캠퍼스는 성결대학교의 비전인 ‘융합과 혁신의 미래 플랫폼(SKU, Convergence Meets Innovation)’을 구현하는 핵심 전략으로, 세계 각국의 대학 캠퍼스를 메타버스로 연결해 국경과 물리적 거리를 넘어 배우고 협력하는 차세대 글로벌 교육 플랫폼이다.

특히 실제 캠퍼스를 디지털 트윈으로 구현하고 대면 학습과 메타버스 공간을 유기적으로 결합함으로써, 학생과 교수진이 같은 공간에 있으면서도 동시에 세계와 연결되는 새로운 캠퍼스 경험을 가능하게 한다는 점에서 주목받고 있다. 이번 행사는 정식 공개에 앞서 제한된 파트너 대학만 접근 가능한 프리런치(Pre-launch) 버전이 실제 국제교류 현장에 적용된 첫 사례로, 단기 방문 중심의 국제교류를 넘어 교육·연구·문화 활동이 연동되는 지속 가능한 글로벌 캠퍼스 교류 가능성을 보여줬다.

고베가쿠인대학교 국제교류센터장 오카베 요시히코(岡部芳彦) 교수는 “이동·비용·시간의 제약을 줄이면서도 몰입도와 상호작용을 강화한 글로벌 교류 모델”이라며 “양교 학생 간 상호 이해와 친밀감이 더욱 깊어질 것으로 기대한다”고 말했다.

이준서 성결대학교 문화프레임빅데이터연구소장은 “이번 교류는 성결대학교의 중장기 발전전략인 ‘융합과 혁신의 미래 플랫폼’ 비전이 실제 국제교류 현장에서도 구현 가능하다는 점을 보여준 사례”라며 “향후 교환학생, 공동수업, 국제 포럼 등으로 확장해 글로벌 캠퍼스 네트워크를 본격적으로 실현해 나갈 계획”이라고 밝혔다.

성결대, 일본공항 해외인턴십 및 컬처마이닝 국제교류 설명회 성료

워케이션 기반 글로벌 실무교육과 문화융합교류 통해 항공서비스 융합전공 본격 추진
성결대(총장: 정희석)가 지난 2025년 5월 30일 오후 3시 학술정보관 6층 국제회의실에서 '일본공항 해외인턴십 & 취업설명회 및 면접'과 '2025년도 컬처마이닝 온&오프 국제학생교류 프로그램 설명회'를 연이어 개최하며 글로벌 진로교육의 새로운 비전을 제시했다.

이번 설명회는 '해외현장실습 연계 장기 인턴십'과 '언어/문화 교류형 프로젝트 수업'을 결합한 온/오프라인 하이브리드형 교육 모델로, 항공/호텔 분야 실무역량과 글로벌 문화 소통능력을 동시에 갖춘 융합형 인재 양성을 목적으로 진행됐다.

일본공항 현장실습, '워케이션' 기반 글로벌 인턴십 6기 출범

1부 행사로 열린 '일본공항 해외인턴십 설명회 및 면접'에서는 프로그램 운영 방식과 학점 인정 기준, 현지 생활 환경 등 실질적인 안내가 이뤄졌으며, 현장 면접을 통해 6기 참여자 선발이 함께 이뤄졌다.

해당 프로그램은 성결대의 '해외현장실습 제도(최대 1년 36학점 인정)'와 연계돼 있으며, 재학 중 일본 공항 및 호텔 현장에서 장기 체류하며 실무와 학습을 병행하는 '워케이션(Work + Vacation)' 교육모델로 주목받고 있다. 이를 통해 학생들은 실질적인 직무역량을 키우며 글로벌 커리어를 미리 체험할 수 있는 기회를 얻게 된다.

컬처마이닝 국제학생교류...글로벌 메타버스 캠퍼스 기반 정규과목 연계

이어 진행된 2부 행사 '2025 컬처마이닝 온&오프 국제학생교류 설명회'에서는 여름방학 동안의 일본 대학생 대상 인바운드 언어/문화 연수와 겨울방학 성결대 학생의 아웃바운드 일본 연수 프로그램이 소개됐다.

특히 본 프로그램은 단순 교류를 넘어서 상호 대학 정규 교과목(3학점)으로 연계 운영되며 메타버스 플랫폼을 통한 한/일 공동 프로젝트 수업, 문화 콘텐츠 해석, 글로벌 문화 빅데이터 분석 등의 실습형 과제가 포함된다. 또한, 일본 고베학원대/오사카관광대 등 협정 대학과 연계해 현지 문화 체험, 기업 탐방, 공동 성과 발표회가 구성돼 있어 참가 학생들의 글로벌 실무 감각을 한층 강화한다.

글로벌 항공서비스 융합전공 신설 추진

성결대는 이번 두 프로그램을 기점으로 '글로벌 항공서비스 융합전공' 개설을 본격적으로 추진한다. 해외 공항/호텔 산업과의 산학협력, 문화 빅데이터 기반의 융합 교육, 메타버스 실습 등을 통합한 차별화된 커리큘럼을 통해 글로벌 항공/관광/문화 융합형 인재를 양성할 계획이다.

성결대 글로벌물류학과 이준서 교수는 "이번 설명회는 해외현장 실습과 국제교류 교육이 융합된, 성결대만의 글로벌 역량 강화를 위한 시도였다"며 "정희석 총장 취임식에서 강조된 '글로벌 허브형 교육기관'의 비전을 실현하는 의미 있는 출발점으로 앞으로도 위케이션 기반 현장 교육, 컬처마이닝 국제학생교류, 항공서비스 융합전공 개설 등을 통해 학생들의 세계무대 진출을 적극 지원하겠다"고 밝혔다.

성결대학교, 새로운 슬로건 로고 공개...융합과 혁신의 미래플랫폼

대학이 지향하는 교육 철학과 정체성 함축적으로 표현

성결대 융합과 혁신의 미래플랫폼 슬로건B

성결대 새 슬로건 로고 디자인은 별의 형태와 이를 잇는 곡선형 궤적을 통해 다양한 가능성이 모여 새로운 가치를 만들어내는 '융합의 장'을 상징한다. 또한 오렌지와 네이비 색상은 '혁신적인 도전'과 '안정적인 신뢰'를 함께 담아, 성결대가 미래를 향해 지속적으로 성장하고 발전해 나가는 '미래플랫폼'의 비전을 시각적으로 표현했다.

성결대학교가 미래사회가 요구하는 융합형 인재 양성과 교육 혁신을 위한 새로운 대학 비전을 담은 새로운 슬로건 로고 '융합과 혁신의 미래플랫폼(SKU, Where Convergence Meets for the Next)'을 12일 공식 발표했다.

이번 슬로건은 성결대가 지향하는 교육 철학과 정체성을 함축적으로 표현한 것으로, '융합'을 통해 새로운 가치를 창출하고, '혁신'을 통해 미래를 선도하겠다는 의지를 담고 있다.

영문 슬로건 'Where Convergence Meets for the Next'는 다양한 학문과 사람이 만나 '다음 세대'를 향한 도전과 성장의 플랫폼으로 나아가겠다는 의미를 상징한다. 성결대학교는 이번 슬로건 발표를 계기로 학문 간 융합, 산학협력 강화, 교육 혁신 추진 등 실질적인 변화를 이어가며 대학의 새로운 도약을 준비하고 있다.

특히 이번 슬로건 로고는 학교의 정체성을 시각적으로 통합하고, 구성원과 지역사회가 공유할 수 있는 '하나의 상징'으로 자리매김할 예정이다. 성결대는 새 슬로건 로고를 중심으로 홍보동영상, 브로슈어와 같은 다양한 교내외 홍보물과 온라인 채널, 공식 홈페이지, 입시 콘텐츠 등

에 단계적으로 적용해 브랜드 정체성과 비전의 일관성을 강화할 계획이다.

정희석 총장은 "이번 슬로건은 성결대가 앞으로 나아갈 방향을 명확히 보여주는 나침반"이라며 "융합과 혁신을 통해 미래 사회를 이끌 인재 양성의 중심대학으로 자리하겠다"고 밝혔다.

성결대 문화프레임빅데이터 연구소, 고베학원대 학생교류회 개최

교육부 대학혁신지원사업의 지원을 받고 있는 성결대 문화프레임빅데이터 연구소는 일본 고베학원대의 학생 11명을 초청해 성결대 학생 22명과 함께 현지 교류회를 개최했다고 13일 밝혔다. 컬처마이닝 코스의 일환으로 실시한 이번 행사는 12월 성결대 학생 22명이 일본 고베학원대에서 실시한 학생교류회의 연장선에서 이뤄진 것이다.

또한 이번 행사에서 우크라이나 연구자로도 잘 알려진 고베학원대 오카베 요시히코(岡部芳彦) 교수의 특임교수 임명식과 감사패 수여식도 동시에 열렸다. 고베학원대의 국제교류센터 센터장이기도 한 오카베 교수는 문화프레임빅데이터 연구소의 하계 컬처마이닝 언어문화연수에 고베학원대 학생들의 파견 계획에 대해서도 밝혔다.

메타버스 캠퍼스/현지 교류회를 통해 자(自)문화와 이(異)문화의 차별성을 발견해내는 컬처마이닝 언어문화연수는 상호대학의 학점 연계와 함께 현지에서 양교의 대학생들이 교류할 수 있는 문화프레임빅데이터 연구소의 대표적인 교육 프로그램이다.

1912년 창립 이래 두 개 캠퍼스 재학생 1만2천여명 규모로 성장한 고베학원대는 특히 2019년 무인전차로 연결되는 인공섬 포토아일랜드에 신캠퍼스를 구축하면서 재도약의 모멘텀을 만든 대학으로도 유명한데, 향후 고베학원대와의 중단기 교류가 본격적으로 이뤄질 전망이다.

성결대 문화프레임빅데이터연구소, 글로벌기업 CEO 강연회 개최

성결대학교 문화프레임빅데이터연구소는 교육부 대학혁신지원사업의 지원을 받아 12월 7일에 일본항공(JAL)의 한국지사 지점장, 山本和則(야마모토 카즈노리)를 초청하여 '일본항공이 추구하는 젊은 인재상'이라는 주제로 강연회를 개최했다. 이 강연회는 문화프레임빅데이터연구소와 서울재팬클럽(SJC)이 매년 공동으로 기획하는 행사로, 올해로 세 번째를 맞이했다. 이번 행사에는 (주)스미토모상사, (주)미츠이UFJ은행, JETRO 등 서울재팬클럽의 임원들도 참석했다.

일본항공의 야마모토 지점장은 70여 명의 대학생들에게 일본항공이 겪은 역경과 이를 극복하는 과정을 상세히 설명하며, 회사의 미래 비전을 제시했다. 문화프레임빅데이터연구소 연구소장 이준서 교수는 “향후에도 350여개의 법인회원사를 보유하고 있는 서울재팬클럽과 협력하여 대학생들에게 다양한 직종의 글로벌기업을 소개하는 자리를 지속적으로 마련하겠다.”고 밝혔다.

성결대 문화프레임빅데이터연구소 한일친선협회와 '한/일 대학생 교류의 밤' 공동 주관

성결대 문화프레임빅데이터연구소는 일본 효고현의 한일친선협회(日韓親善協會)와 '한일 대학생 교류의 밤'을 개최했다고 20일 밝혔다. 이 행사는 19일 일본 고베에서 열렸고 행사에는 성결대를 비롯해 관서학원대, 고베학원대, 오사카관광대 등 4개의 한일 대학생 50여 명과 한일친선협회 임원과 관계자 10여 명이 함께 했다. 행사는 한일친선협회의 임원 하마모토 히로시(浜本宏)의 인사말로 시작해 각 대학의 대표 학생들이 발표하고 대학을 소개했으며 '컬처마이닝 연수' 활동에 대한 보고회로 이어졌다.

문화프레임빅데이터연구소의 이준서 소장은 지난 1년간 진행된 '온&오프 컬처마이닝 연수'를 한일 대학생들과의 뜨거운 교류회로 마무리 지으며 앞으로도 이러한 교류를 지속하기 위해 노력하겠다고 밝혔다.

성결대 글로벌경영기술대학-문화프레임빅데이터연구소, ‘관서지역 컬처마이닝’ 도서 출판

해당 도서는 교육부 대학혁신지원사업(TEC)의 지원을 받아 운영 중인 '온&오프 인&아웃바운드 하이브리드 컬처마이닝 코스(CMC)' 교육 프로그램의 일환으로 출판됐다.

또한 프로그램에 참여한 22명의 학생들이 각자 선정한 연구 테마를 깊이 있게 조사하고 분석해 논문 형식으로 완성한 22개의 주제로 구성됐다.

이준서 연구소장은 "지난 1년 동안 해외 자매대학 학생들과의 온라인 및 오프라인 교류를 통해 얻은 문화적 지식과 경험을 학생들이 표현할 수 있었다"며 "학생들이 국제 교류를 통해 맺은 인맥과 직접 현지에서 입수한 자료 및 사진을 활용하여 자신의 주장을 설득력 있게 펼칠 수 있었던 소중한 경험을 가졌다"고 전했다.

한편 '온&오프 인&아웃바운드 하이브리드 컬처마이닝 코스(CMC)' 교육 프로그램은 온라인과 오프라인을 넘나들며 국제 교류 및 연수를 진행하고, 자문화와 타문화의 차별성을 발견하는데 중점을 둔 창의융합 교육이다.

성결대 문화프레임빅데이터 연구소 컬처마이닝 연구 발전기금 수주

성결대학교는 2월 14일 전 일본중의원 하마모토 히로시(浜本 宏) 교수로부터 연구 발전기금을 수주했다고 17일 밝혔다. 한일의원연맹/한일친선협회 등에서 한국과 일본의 관계 개선에 지속적으로 노력해 온 하마모토 고베학원대 교수는 문화프레임빅데이터 연구소가 보유하고 있는 컬처마이닝 연구에 큰 관심을 보여왔다. 컬처마이닝은 다중 언어의 비교와 대조를 통해 언어별/국가별/성별/세대별 문화를 구성하는 특징적인 문화 요소를 발견해 다양한 부가가치를 창출하는 빅데이터 분석기법의 하나다. 문화프레임빅데이터 연구소의 총괄고문이기도 한 하마모토 교수는 "컬처마이닝 연구의 발전으로 한국과 일본의 문화 소통과 양국의 관계 개선에 이바지해 달라"고 밝혔다.

성결대 문화프레임빅데이터 연구소 '마이ナビ CEO초청 기업설명회/기업컨설팅' 개최

성결대 문화프레임빅데이터 연구소는 서울재팬클럽(SJC)과 일본 최대 취업포털 '마이ナビ 기업설명회/기업컨설팅'을 동시에 진행했다고 18일 밝혔다. 나기라 타로(柳樂太郎) 마이ナビ코리아 대표이사는 입사 당시 400명에서 1만2000명 규모의 기업으로 성장한 마이ナビ의 발자취를 설명하면서 한국대학생들의 대기업 편중의 기업선택 현상을 지적하고 건실한 강소기업을 발굴하는 노하우를 전파했다. 2부행사에서는 토픽모델링, SNA분석 등 문화프레임빅데이터 연구소가 독자적으로 보유하고 있는 다양한 컬처마이닝(Culture Mining) 빅데이터 분석기법을 활용해 마이ナビ에 대한 기업컨설팅이 진행됐는데 나기라 사장은 한국에서의 마이ナビ 사업 확장에 유용한 아이디어를 얻을 수 있는 기회였다고 밝혔다.

이준서 연구소장은 문화프레임빅데이터 연구소 사업의 일환으로 매년 서울재팬클럽과 협업하여 진행되고 있는 것이라고 하고 컬처마이닝을 활용해 학생들의 해외진출/글로벌기업체의 사업확장에 일조할 것이라고 밝혔다.

성결대 문화프레임빅데이터 연구소 컬처마이닝 과정 개발 및 실시

성결대 문화프레임빅데이터 연구소는 국토교통부와 한국통합물류협회의 공동 후원으로 컬처마이닝 과정을 실시했다고 2일 전했다.

컬처마이닝(Culture-Mining)은 빅데이터 속에서 언어/지역/성별/세대별 문화를 구성하는 문화요소를 발견해내는 것으로 문화프레임빅데이터 연구소가 독자적으로 보유하고 있는 빅데이

터 분석기술이다.

이번 컬처마이닝 과정(Culture-Mining Course, CMC)의 실시는 지난 7월 일본의 오사카관광대와 성결대 간의 업무협약의 일환이기도 한데, 8월 22일부터 31일까지 오사카관광대 학생들과 성결대 학생들이 메타버스 공간과 경기도, 서울시, 부산시를 넘나들며 다양한 한국과 일본의 차별화된 문화요소를 발굴했다. 컬처마이닝의 결과물은 8월 31일 성결대 학술정보관에서 실시된 오프라인 수료식에서 한국과 일본의 학생들이 협업하여 발표했다.

수료식에 참석한 성결대 김상식 총장은 "이번 단기 컬처마이닝 과정은 2학기 수업에 연계되고, 동계 방학중에는 반대로 우리 대학 학생들이 오사카관광대로 파견되어 컬처마이닝 활동을 지속할 것이다."며 "시간과 공간, 언어와 국경을 초월한 온/오프 병행수업의 혁신적인 교육모델로 자리잡힐 것이다."고 밝혔다.

성결대 문화프레임빅데이터연구소 메타버스 감각 홈페이지 구축

최신 AI 답러닝 이론 접목한 컬처마이닝 연구

한국연구재단의 일반공동연구지원사업으로 융복합연구를 진행중인 성결대의 문화프레임빅데이터연구소가 홈페이지를 리뉴얼오픈했다고 28일 전했다.

다국적 인포먼트 그룹을 활용하여 AI 답러닝 이론을 접목한 '컬처마이닝'이라고 하는 독자적인 빅데이터 분석기법을 연구하고 있는 문화프레임빅데이터연구소는 이번에 개선된 홈페이지를 통해 기존 인포먼트 그룹의 관리와 소통은 물론, 연구성과의 공유, 다양한 교육자료의 배포 등 융합연구 활성화에 기여할 것으로 기대된다.

이준서 연구소장은 "아직까지 프로토타입에 지나지 않지만 홈페이지 구축에 있어서 메타버스 감각을 더했다"며, "향후 이를 통해 인포먼트 그룹의 확장, 시공간을 뛰어넘는 유용한 언어적/비언어적 커뮤니케이션 데이터의 확보 및 컬처마이닝 데이터베이스 구축을 위해 지속적으로 개선해 나가겠다"고 밝혔다. 노영희 융합연구총괄센터장은 "이번 메타버스 감각의 홈페이지 구축을 통해 최근 크게 주목 받고 있는 AI 답러닝 이론을 접목한 융복합 컬처마이닝 연구가 크게 확장될 수 있을 것이다"라고 밝혔다.

성결대학교 문화프레임빅데이터연구소, 공동학술대회 성료

융합연구총괄센터는 ‘성결대 문화프레임빅데이터연구소 공동학술대회’가 4월 22일 성황리에 종료됐다고 밝혔다. 이번 공동학술대회는 교육부, 한국연구재단, 융합연구총괄센터가 주관하는 2022 융합연구 공동학술대회의 하나로 개최됐으며, 메타버스 플랫폼인 Gather.Town에서 진행됐다.

이번 성결대 문화프레임연구소 공동학술대회는 컬처마이닝 in 메타버스를 주제로 이뤄졌으며, 이준서(성결대학교) 교수, 서상현(중앙대학교) 교수가 발표를 진행했다.

이준서 교수는 4차 산업시대 혁명으로 빅데이터, 인공지능(AI) 등 각종 데이터 기반 첨단 기술들이 주변 실생활에 깊숙이 침투하고 있다는 점을 강조했다.

이준서 교수는 초연결, 초경계, 초융합된 다문화/이문화/다언어 사회에서 쌓이는 빅데이터 속에서 보다 더 풍부한 부가가치(Value)와 유용한 지식 정보(Insight)를 찾아내는 방안으로, 독자적인 빅데이터 분석 기법인 컬처마이닝(Culture-Mining) 소개와 활용에 대해 논의하는 시간을 가졌다.

두 번째 발표자인 서상현 교수는 메타버스의 개념부터 메타버스의 분류, 사례 등 메타버스에 대해 자세히 소개하는 시간을 가졌다. 서 교수는 “메타버스의 개념 자체는 새로운 것이 아니지만 사회적 인식 변화와 이를 뒷받침해줄 XR+DNA 기술 발달로 실현될 수 있다”며 “메타버스의 한계를 설정하지 않고 계속 확장해야 한다”고 말했다. 그는 메타버스를 통해 인문+공학의 융합으로 새로운 다양한 도전들이 필요하다고 발표했다.

2022 융합연구 공동학술대회를 주관하는 융합연구총괄센터의 노영희(건국대학교 교수) 센터장은 “이번에 메타버스로 진행한 이번 행사의 취지와 잘 맞는 주제 발표였다”며 “더 많은 사람이 메타버스의 개념을 어려워하지 않으면서도 그 한계를 정하지 않고 지속적으로 발전했으면 좋겠다”고 밝혔다.

한편 성결대학교 문화프레임빅데이터연구소는 본격적인 4차 산업혁명 시대를 맞아 앞으로 지식 정보 기반 사회를 선도할 부가가치 창출의 원천이라고 할 수 있는 빅데이터 분야의 다학제간 융합 연구, 융합형 인재 양성 및 교육을 목적으로 설립됐다.

성결대학교 문화프레임빅데이터연구소, 2021 학술대회 성료

문화프레임빅데이터연구소 학술대회가 성공적으로 마무리됐다.

융합연구총괄센터는 11월 19일 진행한 문화프레임빅데이터연구소(소장 이준서 교수) 학술대회를 성공적으로 마쳤다고 27일 밝혔다.

이번 학술대회는 융합연구총괄센터(센터장 건국대학교 노영희 교수)가 주관하고 성결대 문화프레임빅데이터연구소와 공동 주최한 공동학술대회로, 11월 19일 오후 1시부터 진행됐다.

4차 산업시대 혁명으로 빅데이터, 인공지능(AI) 등 각종 데이터 기반 첨단 기술들은 주변 생활에 깊숙히 침투하고 있다. 초연결, 초경계, 초융합된 다문화/이문화/다언어 사회에서 쌓이는 빅데이터 속에서 보다 더 풍부한 부가가치(Value)와 유용한 지식정보(Insight)를 찾아내는 방안으로 독자적인 빅데이터 분석 기법인 컬처마이닝(Culture-Mining) 소개와 활용에 대해 논의하는 시간을 가졌다.

이준서 문화프레임빅데이터연구소 소장은 ‘컬처마이닝 소고’를 주제로 컬처마이닝에 대한 정의 및 예시 사례를 들며, 컬처마이닝에 대해 소개하는 시간을 가졌다. 또한 임상순 성결대 교수는 ‘문화요소 추출 시스템 개선방향 연구’란 주제로 주제발표를 진행했으며, 컬처 마이닝에 대한 주제로도 토론하며 뜻깊은 시간을 보냈다.

융합연구총괄센터는 4차 산업 시대의 출범으로 기술의 획기적인 발전 속도를 고려하면 컬처마이닝의 응용 영역이 급속하게 확대될 것으로 예상되고 있다며 앞으로 함께 지식정보사회를 선도할 부가가치 창출의 원천이다. 컬처 마이닝 기술에 대한 큰 가능성이 보인다고 밝혔다.

한편 문화프레임빅데이터연구소는 본격적인 4차 산업혁명 시대를 맞아 앞으로 지식정보 기반 사회를 선도할 부가가치 창출의 원천인 빅데이터 분야의 다학제간 융합연구, 융합형 인재 양성 및 교육을 목적으로 설립됐다.

성결대 문화프레임빅데이터연구소, 빅데이터 분석 기법 컬처마이닝 소개

융합연구총괄센터(센터장 건국대 노영희 교수)와 성결대 문화프레임빅데이터연구소와 공동 주최한 문화프레임빅데이터연구소(소장 이준서) 학술대회를 지난 19일 성공적으로 마쳤다.

4차 산업시대 혁명으로 빅데이터, 인공지능(AI) 등 각종 데이터 기반 첨단 기술들은 주변 생활에 깊숙히 침투하고 있다.

문화프레임빅데이터연구소 이준서 소장은 ‘컬처마이닝 소고’를 주제로 초연결, 초경계, 초융합된 다문화·이문화·다언어 사회에서 쌓이는 빅데이터 속에서 보다 더 풍부한 부가가치(Value)와 유용한 지식정보(Insight)를 찾아내는 방안으로 독자적인 빅데이터 분석 기법인 컬처마이닝(Culture-Mining) 소개하고 활용에 대해 논의하는 시간을 가졌다.

또한 임상순 성결대 교수는 '문화요소 추출 시스템 개선방향 연구'란 주제로 주제발표를 진행했으며, 컬처 마이닝에 대한 주제로도 토론하며 뜻깊은 시간을 보냈다.

융합연구총괄센터는 4차 산업 시대의 출범으로 기술의 획기적인 발전 속도를 고려하면 컬처 마이닝의 응용 영역이 급속하게 확대될 것으로 예상되고 있다며, 앞으로 함께 지식정보사회를 선도할 부가가치 창출의 원천이다. 컬처 마이닝 기술에 대한 큰 가능성이 보인다고 밝혔다.

한편 문화프레임빅데이터연구소는 본격적인 4차 산업혁명 시대를 맞아 앞으로 지식정보 기반 사회를 선도할 부가가치 창출의 원천인 빅데이터 분야의 다학제간 융합연구, 융합형 인재 양성 및 교육을 목적으로 설립됐다.

성결대 문화프레임빅데이터연구소·한국일본어학회 제45회 국제학술대회

한국연구재단과 융합연구총괄센터(센터장 노영희 건국대 교수)의 지원을 받는 성결대학교 문화프레임빅데이터연구소(연구소장 이준서 글로벌물류학부 교수)가 한국일본어학회(회장 덕성여대 노주현 교수)와 제45회 국제학술대회를 공동 개최했다. 19일 '데이터 기반의 일본어학연구-Culture Mining, AI, 일본어교육-'이라는 기획주제로 개최된 이번 국제학술대회에는 한국, 일본, 중국, 대만 등 다국적 연구자가 참여한 가운데 성황리에 마무리됐다.

기조강연에 나선 이준서 교수는 "일상생활에서도 데이터 기반의 의사결정이 보편화되고 있는 상황에서 어문화(言文化) 연구에 있어서 빅데이터는 필수적"라고 강조하며 '컬처마이닝'이라고 하는 방법론의 의의와 경제적 부가가치 창출의 메커니즘에 대해 밝혔다.

학술대회에 앞서 한국일본어학회와 문화프레임빅데이터연구소는 학술교류 업무협약을 체결했다. 이번 업무협약은 한국의 일본어 관련 연구 및 교육 인력의 저변 확대와 교류를 지향하기 위해 진행됐다. 노주현 한국일본어학회 회장은 "향후 양 기관이 상호 연구성과 공유 및 학술 교류에 적극적으로 임하게 될 것"이라고 밝혔다.

노영희 융합연구총괄센터 센터장은 "이번 국제학술대회와 업무협약은 한국의 일본어 관련 연구 및 교육뿐 아니라 융합연구의 저변 확대와 발전으로 이어진 뜻깊은 행사였다"며 앞으로도 이런 행사를 개최할 수 있도록 융합연구총괄센터가 지원하겠다고 밝혔다.

문화프레임빅데이터 연구소 2021 세미나 개최

융합연구총괄센터(센터장: 노영희 건국대 교수)가 주관하는 '2021 융합연구 Hubcon 컨퍼런스 및 성과발표회'에 문화프레임빅데이터 연구소가 주최로 참여해 세미나를 진행한다. 교육부 대

학혁신지원사업의 일환으로 2019년 성결대학교 인준연구소로 선정돼 2021년 대학 부설연구소로 승격된 문화프레임빅데이터연구소가 주관한다.

이번 2021 융합연구 세미나에서는 문화프레임빅데이터연구소의 독자적인 빅데이터 분석기법인 컬처마이닝(Culture-Mining)에 대한 소개와 이에 대한 활용성을 논할 예정이다. 초연결 초경계 초융합된 다문화·이문화·다언어 사회에서 쌓이는 빅데이터 속에서 보다 더 풍부한 부가가치(Value)와 유용한 지식정보(Insight)를 찾아내는 방안이다.

빅데이터 인공지능(AI) 등 각종 데이터 기반의 첨단 기술들이 우리 주변의 실생활에 깊숙히 침투하고 있다. 소셜커머스, 공유경제, 온라인·모바일 쇼핑, 카네비게이션 등 우리들이 늘상 접하고 있는 각종 서비스들이 바로 빅데이터 인공지능 기술들이 바탕이 된 것이다. 하드웨어 및 컴퓨팅 기술의 획기적 발전 속도를 고려하면 그 응용 영역의 급속한 확대와 함께 향후 지식정보사회를 선도해 나갈 부가가치 창출의 원천이라고 할 수 있다.

우리나라에서도 개인정보 보호법, 신용정보 보호법, 정보통신망법 등 데이터 3법이 국회를 통과함으로써 4차 산업혁명 시대의 원유라고 할 수 있는 빅데이터를 적극적으로 활용할 수 있는 근거가 마련됐다. 데이터 간 융합과 활용으로 적극적인 연구와 제품 및 서비스 개발이 가능해졌고 정보통신기술의 눈부신 발달에 따라 물리적 국경을 초월해 글로벌 비즈니스모델이 되고 있다.

특히 스마트폰의 급속한 보급과 카카오톡, 인스타그램 등 SNS 기반의 상호작용적인 커뮤니케이션 채널의 발달로 텍스트, 음성, 영상 콘텐츠 등 소비자가 생성하는 미디어의 급속한 확산이 가능해져 누구나 쉽게 정보를 발신할 수 있는 환경이 조성됐다. 기업의 제품이나 서비스 사용 경험, 미래 사용에 대한 기대감 등 소비자의 다양한 의견, 평가, 감상 등이 나타나는 SNS 및 CGM 데이터는 미래 소비자 입장에서는 제품선택의 기준이 되고 기업은 이를 활용해 광고, 홍보, 제품 기획 등 각종 마케팅 전략을 수립한다.

문화프레임빅데이터 연구소가 주최하는 이번 세미나는 경주화백컨벤션센터에서 19일 13시부터 14시 50분까지 진행될 예정이다.

성결대 문화프레임빅데이터 연구소, 글로벌기업(Hitachi) CEO 강연회 진행

성결대는 3일 학술정보관 국제회의실에서 메타버스 라이브 방송을 병행하여 2021 글로벌기업 CEO 강연회를 개최했다고 8일 전했다. 11월부터 '위드코로나(with corona)' 정부시책과 함께 본격적인 대면수업으로 전환하는 성결대학교의 대형 오프라인 행사로서도 큰 의미를 가진다.

서울재팬클럽(SJC)와 함께 대학일자리센터, 문화프레임빅데이터 연구소 주관으로 개최한 이번 행사에서 전 세계 35만여명의 사원을 보유한 히타치 그룹의 오오타니 토오루(大谷 徹) 한국히타치 사장이 강연회를 맡았다. 오오타니 사장은 히타치 그룹의 비전인 'Inspire the

Next'를 인용하면서 온라인과 오프라인으로 참석한 300여명의 청년들에게 '현재의 자신에 안주하려 하지 말고 끊임없이 변혁하여 보다 밝은 미래를 개척하는 자세를 가져달라'고 당부했다.

문화프레임빅데이터 연구소장을 겸직하고 있는 이준서 대학일자리개발처장은 한국 최대의 일 본인 커뮤니티인 서울재팬클럽과 함께 향후 CSR 활동 지원을 포함해 다양한 분야에서 협력해 나가기로 했다고 밝혔다.

성결대학교, 2개의 인준연구소 선정해 빅데이터 분야 선제적 대응 나선다

이준서 교수가 지난 21일 성결대에서 진행된 한국일본어학회 제40회 학술대회에서 포스터 발표를 하고 있다.

성결대학교는 대학혁신지원사업의 일환으로 2개의 인준연구소를 선정해, 빅데이터 분야에 선제적으로 대응한다고 23일 밝혔다.

이번에 선정된 연구소는 문화프레임빅데이터 연구소와 AI 경영기술 연구소 등 빅데이터 기반 분야다.

문화프레임빅데이터 연구소는 2019년도 한국연구재단 일반공동연구지원사업 융·복합 분야에 선정되는 등 설립단계부터 주목을 받아 3년간 매년 1억원 규모의 연구비 지원을 받는다.

특히 문화프레임빅데이터 연구소는 지난 21일 한국어일보어학회 제40회 국제학술대회를 개최했다.

이준서 연구소장(성결대 동아시아물류학부 교수)은 학술대회 포스터 발표를 통해 "언어학의 틀 의미론 기반에 빅데이터 마이닝 알고리즘의 하나인 응집 계층적 클러스터링을 응용한 다중언어 문화이미지프레임망을 구축할 계획"이라며 "앞으로도 빅데이터 기반 학제간 융·복합 연구를 이어나갈 것"이라고 말했다.

성결대, 빅데이터 분석 전문기업인 (주)이씨마이너와 협약 체결

1월 14일(화) 오전 11시 성결대 대학본부 재림관 8층 총장실에서 빅데이터 분석 전문 기업 (주)이씨마이너(대표: 민광기)와 교육·연구·기술 교류를 위한 산학협력을 체결했다고 밝혔다.

(주)이씨마이너는 국내 최초로 데이터마이닝 SW 국산화에 성공한 빅데이터 분석의 Frontier로

써 LG, 삼성, SK, 포스코 등 Global기업에서 성공적으로 프로젝트를 수행하고 있는 데이터마이닝 분야 선두기업이다. 성결대와 ㈜이씨마이너는 이번 협약으로 4차산업시대의 인재양성을 위한 교육, 공동 연수 및 사업 추진, 학술 정보 교류 및 상호 연구, 교육 시설의 공동 사용에 협력하기로 했다.

또한, ㈜이씨마이너는 협약에 따라 시중가 20억원 상당의 빅데이터 분류 및 예측 솔루션인 'ECMiner™' 빅데이터 분석 소프트웨어를 성결대 전 구성원에게 5년간 무상으로 제공하기로 했다. 이번에 기증받은 소프트웨어는 빅데이터 기반의 데이터마이닝과 머신러닝을 위한 주요 기능들을 모두 포함하고 있을 뿐만 아니라, 통계분석과 시각화를 위한 다양한 도구들을 지원한다.

윤동철 성결대 총장은 “이번 협약을 통해 학생·교수·직원을 포함한 대학의 모든 구성원들이 교육·연구 활동과 행정업무에서 다양한 방식으로 빅데이터 분석 소프트웨어를 활용할 수 있게 됨으로써 우리대학이 4차산업혁명 시대를 선도하는 대학으로 도약하는데 큰 도움이 될 것”이라고 협약의 의미를 밝혔다.

한편, 성결대는 올해 신설되는 융합형 단과대학인 글로벌경영기술대학(학장: 한종길 교수)에 속한 4개 학부·과(산업경영공학과, 동아시아물류학부, 경영학과, 관광개발학과)들이 함께 운영하는 스마트SCM 융합 전공의 빅데이터 분석과 시각화, 파이썬 기반 머신러닝, 비즈니스 프로세스 인텔리전스 등의 교과목에서 기증 받은 소프트웨어를 적극적으로 활용할 예정이다. 또한, 4차산업혁명 시대를 맞아 신설한 AI경영기술연구소(소장: 김원준교수)와 문화프레임빅데이터연구소(소장: 이준서 교수)에서도 ㈜이씨마이너와 관련 연구 활동에서 협력할 계획이다.

성결대·고베학원대, ‘한·일 언어문화연수 프로그램’ 운영

문화프레임빅데이터연구소는 일본 고베학원대학교와 교육부의 대학혁신지원사업 지원하에 오는 11일까지 ‘한·일 컬처마이닝 언어문화연수 프로그램’을 운영한다고 9일 밝혔다.

이번 연수 프로그램은 메타버스 기술을 기반으로 양국의 학생들이 각국의 차별화된 문화적 요소를 발굴하는 국제교류 활동으로 마련됐으며, 성결대 문화프레임빅데이터연구소가 개발한 글로벌 메타버스 캠퍼스에서 진행됐다.

프로그램에 참여한 학생들은 가상 공간에서 서로의 문화적 차이와 공통점을 탐구하고, 다양한 협업 프로젝트를 수행했다.

또한 마지막 날에는 성결대 메타버스 캠퍼스에서 컬처마이닝 발표회 및 수료식이 열릴 예정이다.

이준서 성결대 문화프레임빅데이터연구소 교수는 "이번 인바운드 단기 연수는 2학기 수업과 연계돼 양교 학생들이 컬처마이닝 책자를 출간할 예정"이라며, "동계 방학에는 성결대학교 학생들이 고베학원대학교로 파견돼 국제교류의 기회를 확대할 계획"이라고 말했다.

이어 "앞으로도 시간과 공간을 초월한 혁신적인 교육모델이 자리잡을 수 있도록 참여 대학을 확장해 나갈 것"이라고 덧붙였다.

한편 성결대는 메타버스 공간을 활용한 미래형 교육 및 국제교류 모델을 더욱 발전시킬 것으로 기대되며, 양교의 협력 또한 지속적으로 확대될 전망이다.

성결대와 고베학원대 일본 현지 학생교류회 개최

교육부 대학혁신지원사업의 지원을 받고 있는 성결대 경영기술대학(GMT)이 21일 고베학원대학(神戸学院大学)과 양교 학생 50여명 규모의 일본 현지 학생 교류회를 개최했다.

1912년 창립 이래 4개 캠퍼스 재학생 1만 2천여명 규모로 성장한 고베학원대는 특히 2019년 무인전차로 연결되는 인공섬 포토아일랜드에 신캠퍼스를 구축하면서 재도약의 모멘텀을 만든 대학으로도 유명하다.

이번 교류회는 지난 1년간 진행돼온 '온&오프 인&아웃바운드 컬처마이닝 연수'의 일환으로 실시한 것으로 내년에는 고베학원대학 학생들의 성결대 인바운드 연수가 계획돼 있다.

이번 컬처마이닝 연수 프로그램(CMC 코스)을 주관하고 있는 문화프레임빅데이터연구소 연구소장 이준서 교수는 "컬처마이닝 연수 프로그램은 국제 교류 및 연수를 통해 자(自)문화와 이(異)문화의 차별성을 발견해내는 것으로 향후 참여대학의 확장에 노력할 것이다."고 밝혔다.

성결대, 마이나비 CEO 초청해 기업설명회·컨설팅

컬처마이닝 빅데이터 분석 활용해 기업컨설팅

성결대학교(총장 김상식) 문화프레임빅데이터 연구소(소장 이준서, 글로벌물류학부 교수)가 일본 최대 취업포털 마이나비 기업설명회·컨설팅을 진행했다.

대학혁신지원사업의 지원을 받고 있는 성결대 문화프레임빅데이터 연구소는 서울재팬클럽(SJC)과 함께 일본 최대 취업포털 마이ナビ 기업설명회·컨설팅을 동시에 열었다고 19일 밝혔다.

나기라 타로(柳樂太郎) 마이ナビ코리아 대표이사는 입사 당시 400명에서 1만 2000명 규모의 기업으로 성장한 마이ナビ의 발자취를 설명하면서 한국 대학생들의 대기업 편중의 기업선택 현상을 지적하고 건실한 강소기업을 발굴하는 노하우를 전파했다.

2부 행사에서는 토픽모델링, SNA분석 등 문화프레임빅데이터 연구소가 독자적으로 보유하고 있는 다양한 컬처마이닝(Culture Mining) 빅데이터 분석기법을 활용해 마이ナビ 관련 기업컨설팅이 실시됐다. 나기라 사장은 한국에서의 마이ナビ 사업 확장에 유용한 아이디어를 얻을 수 있는 기회였다고 밝혔다.

이준서 연구소장은 “이번 설명회는 문화프레임빅데이터 연구소 사업의 일환으로 매년 서울재팬클럽과 협업해 진행되는 행사”라며 “컬처마이닝을 활용해 학생들의 해외진출과 글로벌기업체의 사업확장에 일조할 것”이라고 말했다.

성결대-일본 파소나 아와지섬 지역재생 프로젝트팀 현지 교류회 실시

성결대는 교육부 대학혁신지원사업의 일환으로 일본에 파견된 글로벌경영기술대학 학생들이 파소나그룹이 지역 재생의 일환으로 추진중인 아와지섬 프로젝트인 쯔보세이네이(禅坊靖寧) 시설을 견학했다고 22일 밝혔다. 학생들은 6개월간 문화프레임빅데이터 연구소의 컬처마이닝 코스(Culture Mining Course, CMC)를 통해 동시설을 메타버스 세계에 구현해 왔는데 이번 연수에서 그룹사 메타버스티م과 시설 운영팀과의 교류가 성사된 것이다. 문화프레임빅데이터 연구소 이준서 연구소장은 향후 보다 적극적으로 파소나의 아와지섬 지역 재생 프로젝트 연구에 박차를 가할 것이라고 밝혔다. 아와지섬 지역 재생 프로젝트를 총괄하고 있는 남부 마키야(南部真希也) 상무는 향후 다양한 분야에서 양기관의 지속적인 연계가 가능할 것이라고 밝혔다.

파소나의 아와지섬 프로젝트는 2024년까지 본사 기능은 물론 그룹사 직원 1200명을 섬에 이주시키는 것을 목표로 아와지섬의 폐교, 농가, 토지 등을 구입해 다양한 편의시설/리조트지 등을 개발하면서 지자체/정부와 함께 공격적인 지역 창생(創生)에 도전하고 있어 그 성공 여부에 세계적인 관심을 받고 있다.

성결대 한/일 국제 교류/협력 포럼 개최

성결대는 13일부터 15일까지 사흘간 지난해 7월과 12월에 교류협력 MOU를 체결한 일본 오사카관광대와 고베학원대와 함께 3개교 교류협력 방안 포럼을 개최했다고 16일 밝혔다. 박광일 학교법인 성결신학원 이사장의 인사말과 김상식 성결대 총장의 환영사로 시작된 이번 포럼

에서 첫 번째 강연에 나선 고베학원대의 하마모토 교수(浜本 宏)는 '일본 기업 연계 3개교 산학협력 방안'이라는 주제로 발제하면서 일본의 우수 기업체와 공공기관과 연계한 학생교류에 대하여 구체적인 방안을 제시했다.

'한/일 국제교류 현황과 방안'이라는 주제로 발표한 고베학원대의 오카베 요시히코(岡部 芳彦) 교수는 고베학원대의 국제 교류 현황을 중심으로 향후 성결대와 다양한 학생과 연구자 교류에 대한 의지를 밝혔다. 마지막 강연자로 나선 김세덕 오사카관광대 교수는 성결대와 MOU 체결 이후 실시해온 단기/장기 학생 교류 사례를 발표하면서 "향후 양교의 지속적인 교류 협력이 이루어지기를 희망한다"고 말했다. 또한 이번 포럼 자리에서 하마모토 히로시 교수는 학교 법인 성결신학원을 통해 발전기금을 전달했는데 "문화프레임빅데이터 연구소의 컬처마이닝 연구 발전으로 한/일 문화교류 활성화와 양국의 관계 개선에 이바지해 달라"고 밝혔다. 이번 포럼에 참석한 성결대 학생 160명은 강연자에게 적극적으로 질의하면서 포스트 코로나 시대를 맞아 진로 설정 방향을 모색하는 유익한 시간을 가졌다.

성결대-일본 오사카관광대-고베학원대 현지 학생교류회 실시

성결대는 일본 오사카관광대, 고베학원대와 현지 학생교류회를 실시했다고 26일 밝혔다. 7월과 12월에 업무협약을 체결한 이후 문화프레임빅데이터 연구소가 구축한 컬처마이닝 메타버스 플랫폼으로 온라인 교류회를 실시하고 이번에 일본에서 오프라인 현지 학생교류회를 실시하게 됐다.

그간 4년여간 지속된 코로나19 상황에도 메타버스 플랫폼의 개발/활용을 통해 해외대학과의 학생교류를 도모한 끝에 이번 현지 학생교류회가 성공리에 마무리됐다는 점에서 매우 의의가 크다고 할 수 있다.

이에 대해 성결대 입학교류처 조춘범 처장은 "이번 단기연수와 교류회로 이제 본격적으로 해외대학 교류가 이루어지는 계기가 된 것 같아서 매우 기쁘다"고 밝혔다. 오사카관광대 국제교류센터 코모리 미에(小森三恵) 센터장은 '이번 온/오프 하이브리드 방식의 학생교류회는 포스트코로나 시대의 새로운 해외대학 학생교류의 모델이 될 것으로 보인다. 향후 더욱 활발한 학생교류가 지속되길 바라고 이를 위해 노력할 것'이라고 말했다. 고베학원대 국제교류센터 오카베 요시히코(岡部芳彦) 센터장은 메타버스를 가미한 학생교류 방식에 큰 관심을 보이며 '글로벌 메타버스 캠퍼스 구축을 통한 온/오프 병행 교육 및 교류의 가능성을 타진했다. 학생교류뿐만 아니라 연구자교류에도 상호 협력할 것'임을 밝혔다.

이번 3교의 학생교류회를 계기를 내년 3월 연구자교류, 4월 장기 교환학생교류, 8월 온/오프

인바운드 컬처마이닝 코스(Culture Mining Course, CMC)가 계획돼 있다.

성결대학교, 오사카관광대학교 온·오프라인 한일 학생교류 진행

성결대학교(이하 성결대)는 오사카관광대학교와 단기 한일 학생교류 언어문화연수 프로그램을 진행했다고 5일 밝혔다.

지난달 22일부터 31일까지 열린 이번 연수는 지난 7월 일본 오사카관광대학교와 성결대학교 간의 중장기 업무협약의 후속 조치의 일환으로 마련됐다.

두 학교의 학생들은 성결대 문화프레임빅데이터 연구소가 개발한 메타버스 공간 및 경기도와 부산시 등에서 양국의 차별화된 문화요소를 발굴하는 활동을 진행했으며, 이에 대한 결과물은 성결대학교 학술정보관에서 실시된 오프라인 수료식에서 한국과 일본의 학생들 간 협업 하에 발표됐다.

김상식 성결대학교 총장은 "이번 단기 연수는 2학기 수업으로 연계되며, 동계 방학 중에는 재학생들이 오사카관광대학으로 파견될 예정"이라며 "시간과 공간을 초월한 온·오프 병행수업이 혁신적인 교육모델로 자리잡힐 수 있도록 하겠다"고 말했다.

2022 융합연구 공동학술대회

22일 교육부 한국연구재단 융합연구총괄센터가 주관하는 '2022 융합연구 공동학술대회'가 '디지털 전환 시대의 융합연구 생태계 진화와 혁신 전략'을 주제로 개최된다.

이번 공동학술대회는 가천대 운동재활연구소, 가천대 휴먼보건과학융합연구소, 건양대 웰다잉 융합연구소, 국제연구협력정보센터, 단국대 미래창의융합연구소, 단국대 바이오헬스(BH)혁신공유대학, 단국대 융합헬스케어연구소, 서원대 노마드융합연구센터, 성결대 문화프레임빅데이터 연구소, 연세대 의료법윤리학연구원, 융합연구학회, 전국대학보건학교육협의회, 지식콘텐츠연구소, 지식콘텐츠학회, 충북대 국제개발연구소, 한국비교정부학회, 한국산학협력정책학회, 한서디자인융합센터 등이 공동으로 참여해서 인문사회기반 일반공동융합연구가 진행할 수 있는 사회적 이슈 및 융합연구 트렌드에 관한 주제로 발표와 토론을 진행한다.

이번 공동학술대회는 메타버스에서 열린다. 행사를 주관한 융합연구총괄센터(센터장 노영희 건국대 교수)는 메타버스 플랫폼 Gather.town을 통해 공동학술대회가 개최되는 장소를 직접 설계하고 제작했다.

'2022 융합연구 공동학술대회'를 주관하는 융합연구총괄센터의 노영희 센터장은 "이번 행사 진행을 통해 코로나19로 인해 정체되었던 융합연구의 활성화를 도모하고 다가오는 디지털 전환 시대 융합연구의 발전에 큰 도움이 될 것으로 기대한다"고 밝혔다.

융합연구총괄센터, 융합연구 활성화를 위한 MOU(업무협약) 체결

건국대학교 융합연구총괄센터(센터장 노영희 교수)를 비롯한 문화프레임빅데이터연구소(소장 이준서 교수), 융합연구학회(학회장 박종태 교수), 서강인공지능대학분석연구실(소장 이요안 교수), 언어융합연구소(소장 최영주 교수), 지식콘텐츠학회(학회장 홍현진 교수) 등 총 9개의 기관은 지난해 12월 MOU(업무협약)을 체결했다고 18일 밝혔다.

업무협약은 융합연구 공유 및 네트워크 활성화를 통해 융합연구의 확대 및 융합연구 문화 확산을 목적으로 융합연구 수행에 있어 융합연구 생태계 조성을 위해 기관, 연구소 및 학회가 교육 및 지원 등 업무 전반에 걸쳐 상호 협력하기 위해 진행되었다.

MOU에 참여한 모든 기관은 학제 간 융합연구 활성화를 위한 학술적 교류에 상호 협력하고 융합연구의 확대 및 중요성 증대를 위한 연구자 간 협력 및 지식을 공유하며 상호 협력한 사항에 대한 홍보 및 참여에 적극 협력할 것에 동의하였다. 융합연구총괄센터는 이러한 협력을 통해 더딘 융합연구 속도에 박차를 가하고 미흡한 여건을 개선하여 융합 연구의 수요와 성과를 증가시킬 것으로 기대하고 있다.

노영희 융합연구총괄센터장(건국대학교 교수)은 "이번 협약은 각 기관의 뿌리가 학제 간 연구와 융합연구에 있는 만큼 뜻깊은 업무협약이 될 것"이라며, 융합연구는 연구자들 상호간 친밀한 교류와 커뮤니티 속에서 연구 방법 및 대안 등의 수많은 아이디어가 창출되는 만큼 이번 MOU 체결이 융합연구 활성화의 디딤돌이 될 것이라고 밝혔다.

융합연구총괄센터, 2021 융합연구협의체 소통팀 제주도 세미나 성료

융합연구총괄센터(센터장 노영희 교수)는 2021년 12월 17일 제주 시리우스 호텔에서 융합연

구 협의체 소통팀 세미나를 개최했다고 20일 밝혔다.

이번 세미나는 △융합연구총괄센터 △언어융합연구소 △지식콘텐츠연구소 △서강인공지능대화 분석연구실 △융합연구학회 △국제연구협력정보센터 △지식콘텐츠학회 △문화프레임빅데이터 연구소 등 8개 기관이 공동으로 주최했다.

이번 세미나는 2019년, 2020년 한국연구재단 일반 공동 연구로 선정된 10여개 연구팀이 협업해 개최한 것으로, 공동 융합연구 아젠다를 발굴하는 것이 목적이다. 세미나는 △은유 지식 베이스 자동 구축 △기계와 대화 개선 방안 로드맵 △메타버스 세상 속 직원들의 일하는 방식에 대한 탐색적 연구 △ENACT Project의 브랜드화를 통한 확산 △컬처 마이닝의 확장성과 브랜드화 구상 등의 연구 확장과 관련된 연구 테마 발표가 이뤄졌다.

또 8개 기관의 크로스 업무 협약을 마친 자리에서 이번에 새롭게 발굴된 아젠다로 앞으로 공동 연구를 추진하기로 한 목소리를 냈다.

성결대, 마이나비코리아와 세이카쿠샤코리아 상호협력 강화 협약식 및 간담회

성결대 대학일자리개발처는 14일 라마다호텔(선정릉역)에서 마이나비코리아, 세이카쿠샤코리아와 해외취업 활성화를 위한 협약식과 간담회를 열었다고 18일 밝혔다.

협약식은 성결대 대학일자리개발처장, 마이나비코리아 대표이사, 과장, 세이카쿠샤코리아(주) 차장, 성결대 해외취업지원센터 교수, 팀장 등이 참석한 가운데 진행됐다. 이번 협약은 글로벌 경제위기 시대에 청년 실업 문제를 해결하기 위해 학생의 해외 취업 및 연수 기회를 제공하고 나아가 해외 산업체에서의 다양한 실무경험과 취업 기회를 확장하고자 마련됐다.

또한 간담회를 통해 성결대학교와 마이나비코리아, 세이카쿠샤코리아는 AI면접 및 빅데이터 기반 이력서클리닉 등 성결대학교 인준연구소인 문화프레임빅데이터 연구소의 컬처마이닝(culture mining) 기술 및 정보 교류에 협력하기로 하였으며, 성결대 재학생뿐만 아니라 경기 남부지역 대학생들의 해외취업 활성화를 위하여 향후 컨소시엄을 구성하여 지자체 및 정부기관의 해외취업지원사업에 적극적으로 참여하여 포스트코로나시대에 대비하기로 했다.

융합연구총괄센터와 일반공동융합연구 소통팀 사업팀은 지난 20일부터 22일까지 제주도 시리우스 호텔에서 융합연구협의체 세미나를 진행했다고 27일 밝혔다.

교육부 한국연구재단 융합연구총괄센터가 주최하고 문화프레임빅데이터 연구소가 주관했다.

세미나는 융합연구지원사업 연구팀을 대상으로 융합연구자 간 교류 활성화, 공통의 아젠다 발굴, 시너지 활성화를 위한 공동체계 구축 등을 목표로 일반공동 융합연구의 방법론 토의, 주제별 융합연구 아젠다 발굴, 팀단위 일반공동 융합연구 성과발표를 통한 성과교류 등으로 진행됐다.

노영희 융합연구총괄센터장은 "이번 세미나를 통해 팀단위 일반공동 융합연구의 성과발표를 통한 성과교류를 진행했고 성공적으로 마무리했다"고 밝혔다.